

## ビジネス探究プログラム「ビジネス探究Ⅱ（PBL）」カリキュラムシート

|     |  |
|-----|--|
| 分野名 | 会計分野   |
| 目標  | <p>1 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>2 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。</p> <p>3 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> |

| 時間数 | 学習活動  | 指導の留意点及び到達目標   |
|-----|---|--|
| 2時間 | <p>【SDGsとSociety5.0の理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義（1時間）<br/>ワークシートを配付し、SDGsとSociety5.0の講義を行い、基礎学習においてSDGsの17の目標とSociety5.0との共通点・相違点について調べる。</li> <li>・グループワーク（1時間）<br/>4～5人グループに分かれ、基礎学習をもとにグループでの意見共有を行う。状況に応じて全体意見共有も行うと深い学びとなる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsとSociety5.0、ESG投資の意味を理解し、共通点・相違点を明確に説明することができる。</li> <li>・SDGsの目標達成のために、個人的な視点、企業としての視点の両面からビジネスについて創造することができる。</li> <li>・ESG投資について理解し、現在、企業が行っている取組を参考にし、企業の社会的価値と長期的な両立を図るためのアイデアを創出することができる。</li> </ul>                             |
| 2時間 | <p>【クラウドファンディングから考える資金調達】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、事前課題（1時間）<br/>ワークシートを配付し、クラウドファンディングについて講義を行う。その後、個人学習を行う。</li> <li>・グループワーク（1時間）<br/>4～5人グループに分かれ、グループでの意見共有を行う。最後に5（3）について各グループから発表させ、全ての発表を聞いた後、個人での最終的な意思決定を行う。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングや資金調達方法など、複数の方法についてのメリットやデメリットを整理し、それぞれの特徴から資金調達の意思決定を行わせる。</li> <li>・クラウドファンディングの成功事例・失敗事例から成功する要因について見いだすことができる。</li> <li>・資金調達方法の違いによるメリット・デメリットを整理し、根拠を明確にして意思決定をすることができる。また、他者の意見から自己の考えを見直し、最終的な意思決定をすることができる。</li> </ul> |

## ビジネス探究プログラム「ビジネス探究Ⅱ（PBL）」カリキュラムシート

| 時間数 | 学習活動   | 指導の留意点及び到達目標  |
|-----|--|---|
| 2時間 | <p>【リースとレンタルどちらが得？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義及びケースメソッド（1時間）<br/>リース取引とレンタルの意味や違いについて理解する。また、ケースメソッドを通じて、経済的視点からリースとレンタルを比較し、その違いを理解する。</li> <li>・グループワーク（1時間）<br/>4～5人グループに分かれ、プロコンリストを用いて、幅広い視点からリースとレンタルを比較し、前時に比較した経済的視点も含め、根拠をもって意思決定する。最終的な意思決定については全体意見共有を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースメソッドでは非現金支出費用の節税効果について理解させる。</li> <li>・講義の中ではリースとレンタルの定義を行い、まとめを行うこと。また、それぞれのメリットとデメリットについて考察させる。</li> <li>・ビジネスフレークワークとしてメリットとデメリットをまとめるプロコンリストを作成し、リースとレンタルについて思考を深めさせる。</li> <li>・リースとレンタルの会計的処理を身に付ける。</li> <li>・ケース教材の内容から判断に必要な数値を算出し、経済的視点から意思決定することができる。</li> </ul>  |
| 2時間 | <p>【無形固定資産（のれん）償却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、事前課題（1時間）<br/>ワークシートを配付し、無形固定資産の意味と種類について講義を行う。その中でも特にのれんの計上方法について詳しく説明を行う。また、サッカークラブでは選手登録権が無形固定資産として計上されることにも触れる。<br/>ケースメソッド教材を配付し、事前アサインメントに取り組ませる。I F R S（国際会計基準）と日本会計基準ののれん償却の違いを考えさせるように授業を進めていく。</li> <li>・ケースメソッド（1時間）<br/>ケースメソッドを実施し、グループ（10分）と全体（40分）で意見共有を行う。その後、振り返りシートの記入をさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・I F R S（国際会計基準）と日本会計基準ののれん償却の違いを考えさせるよう授業を進めていく。</li> <li>・減損損失は日商簿記1級の範囲であるが、日本会計基準と国際会計基準の違いを説明する上では必須の知識なので、発展した学習ではあるが、減損損失について資料を用いて説明する。</li> <li>・のれんの会計処理に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>・日本会計基準と国際会計基準ののれんの償却方法の違いを理解している。</li> <li>・日本会計基準と国際会計基準ののれんの扱いについて多面的に理解し、さまざまな角度からのれんについて探究し、自らの意思決定を行うことができる。</li> </ul> |

## ビジネス探究プログラム「ビジネス探究Ⅱ（PBL）」カリキュラムシート

| 時間数 | 学習活動  | 指導の留意点及び到達目標   |
|-----|---|--|
| 4時間 | <p>【どの会社の株を買う？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義とグループワーク（2時間）           ワークシートを受け取り、財務諸表（有価証券報告書）の見方の講義を受け、トヨタ、日産、本田の3社の経営分析を個人で行う。         </li> <li>・グループワーク（1時間）           4～5人グループに分かれ、個人で行った経営分析について、グループ内で発表しまとめを行う。どの会社の株を買うのか問題解決する方法を体験する。         </li> <li>・マイクロディベート（or グループワーク）（1時間）           3社の中からグループで主張する会社を選び、簡易的なディベート（or グループワーク）を実施する。ディベートの後に、振り返りシートの記入を行う。         </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券報告書を用いた企業分析を行い、どの会社の株を買い、投資するかについて考察させる。</li> <li>・トヨタ、日産、本田の3社の2023年から2024年のデータを収益性、効率性、安全性、成長性に着目し、会計的側面から企業を分析する力を養うことを目標とする。</li> <li>・グループ全員で協力して、情報共有を行い、協働的に取り組む態度を身に付けさせる。</li> <li>・他者の意見からどこの会社の株を買ったほうが良いか、多面的・多角的に考察させる。</li> <li>・肯定側と否定側に分かれ、立論、反論、まとめを行う。</li> <li>・マイクロディベートに参加していない生徒で審判（ジャッジ）を行う。問題解決に向けて主体的に取り組む態度を養うことを目指とする。</li> </ul> |
| 4時間 | <p>【ビジネスプレゼンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの準備（3時間）           ワークシートを用いて、環境会計について講義を受ける。企業の財務諸表を調べながら、プレゼンの準備を行う。         </li> <li>・プレゼンテーションの実践（1時間）           企業の環境会計についての取り組みをまとめ、プレゼンテーションを実施する。振り返りシートの記入を行う         </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境会計の意味と導入するメリットを理解させる。</li> <li>・環境会計を導入するメリットを理解し、SDGsやESGにかかる手法として、会計的側面から企業を分析する力を身に付けさせる。</li> <li>・発表会を通じて、新たな課題を発見し、それを次の学びに活かすことの重要性を理解させる。</li> <li>・振り返りシートの記入から問題解決に向けて主体的に取り組む態度を育成することを目指とする。</li> </ul>  |

|             |  |             |
|-------------|--|-------------|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）  |             |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）  |             |
| 単元          | 章  | 第1章 財務会計の基礎 |
|             | 節  | 第3節 企業会計の役割 |
| 教材の<br>タイトル | SDGsとSociety5.0の理解   |             |
| 教材から<br>の学び | 1 SDGsの17の目標を理解し、個人的な視点、企業としての視点の両面からビジネスについて創造する。<br>2 SDGsとSociety5.0の共通点と相違点について理解する。<br>3 ESG投資について理解し、現在、企業が行っている取組を参考にし、企業の社会的価値と長期的な両立を図るためのアイデアを創出する。<br>4 グループワークを実施し、まとめたSDGsの取組の情報共有を行い、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |             |
| 時間数         | 2時間  |             |
| 授業の<br>進め方  | <p>&lt;SDGsとSociety5.0の理解&gt;</p> 1 ワークシートを配付し、SDGsとSociety5.0の講義を行う。ESG投資についてあらかじめ触れておくとよい。(20分)<br>2 【基礎学習（個人学習）】を行う。(30分)<br>3 上記2の基礎学習をもとに【グループ意見共有】を行う。<br>時間があれば【グループ意見共有】の2（2）及び3については全体意見共有も行うと学びが深まる。(1時間)            |             |

## SDGsとSociety5.0の理解 授業計画

### ■本単元の位置付け

第1章 財務会計の基礎

第3節 企業会計の役割

### ■本単元の目標

1時間目

- ・SDGsの17の目標について理解する。
- ・SDGsとSociety5.0の共通点と相違点について理解する。

2時間目

- ・SDGsの17の目標を理解し、個人的な視点、企業としての視点の両面からビジネスについて創造することができる。
- ・ESG投資について理解し、現在、企業が行っている取組を参考にし、企業の社会的価値と長期的な両立を図るためのアイデアを創出することができる。
- ・4～5人程度でグループワークを実施し、まとめたSDGsの取り組みの情報共有を行い、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### ■評価の規準

#### 【A】知識・技術

- ・SDGsの17の目標を理解している。
- ・SDGsとSociety5.0、ESG投資の意味を理解し、共通点・相違点を明確に説明することができる。

#### 【B】思考力・判断力・表現力

- ・SDGsの目標達成のために、個人的な視点、企業としての視点の両面からビジネスについて創造することができる。
- ・ESG投資について理解し、現在、企業が行っている取組を参考にし、企業の社会的価値と長期的な両立を図るためのアイデアを創出することができる。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・【基礎学習（個人学習）】について主体的に取り組んでいる。
- ・グループ活動において、積極的に発言し、課題を解決しようとする態度を身に付けています。

### ■留意事項

- ・調べ学習、グループワークが円滑に進むよう、適宜教員から指導・助言を行う。

## 【SDGsとSociety5.0の理解】

### <SDGsとは?>

貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。



画像出典：国際連合広報センター

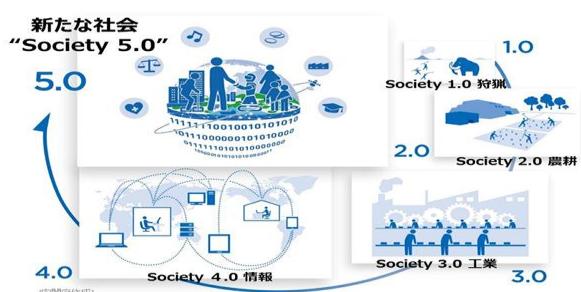
[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounder/31737/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounder/31737/)

### <Society5.0とは?>

Society5.0(読み方:ソサエティ・ゴーテンゼロ)とは、我が国が目指すべき未来社会の姿であり、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会です。フィジカル空間(現実空間)とサイバー空間(仮想空間)を融合させたシステムによって、社会的な課題の解決と経済発展を両立させるための新たな社会を意味します。日本が目指すべき未来の社会として、第5期科学技術基本計画において提唱されました。

Society5.0で解決を目指す課題は、以下の5つが挙げられます。

- (1) 温室効果ガス排出の抑制とスマートシティー化
- (2) 食料の増産やロスの削減
- (3) 高齢化などに伴う社会コストの抑制
- (4) 持続可能な産業化の推進
- (5) 富の再配分や地域間の格差是正



画像及び説明文出典：内閣府

[https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

### 【基礎学習（個人学習）】

1 SDGsの17の目標を理解するために「国際連合広報センター」のホームページから17の目標のアイコンをクリックして気付いたことを以下の□に書きましょう。最後にESG投資について調べてください。

URL [https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounder/31737/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounder/31737/)

|                      |                 |                      |                 |
|----------------------|-----------------|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう            | 2 飢餓をゼロに        | 3 すべての人に健康と福祉を       | 4 質の高い教育をみんなに   |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう      | 6 安全な水とトイレを世界中に | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も    |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう    | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを     | 12 つくる責任つかう責任   |
| 13 気候変動に具体的な対策を      | 14 海の豊かさを守ろう    | 15 陸の豊かさも守ろう         | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう | ESG投資とは??       |                      |                 |

2 Society5.0をSDGsとの共通点と相違点という視点から調べましょう。

Society5.0とSDGsとの共通点

Society5.0とSDGsとの相違点

## 【グループ意見共有】

I 基礎学習で調べた Society5.0 をSDGsとの共通点と相違点について意見共有をしましょう。

Society5.0 とSDGsとの共通点

Society5.0 とSDGsとの相違点

2 ESG 投資とは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の観点から企業を評価し、持続可能な社会を目指す投資手法です。SDGs(持続可能な開発目標)と連携し、企業の環境保護や社会貢献、透明な経営を重視します。会計的側面では、ESG 要素を考慮した財務分析が求められ、社会的価値と長期的な利益の両立を図ります。

(1) ESG投資によって、社会的価値と長期的な利益の両立を図るために、現在、多くの企業はどのような活動を行い、それによってどのような長期的な利益を得ようとしていますか。実際、今企業が行っている取組を、以下の表に合うように整理しましょう。

| 社会的価値の提供        | → | 長期的な利益                   |
|-----------------|---|--------------------------|
| 例:企業の環境保護活動によって | → | 例:企業のブランドイメージが向上し利益につながる |
|                 | → |                          |
|                 | → |                          |
|                 | → |                          |
|                 | → |                          |
|                 | → |                          |

(2) ESG 投資によって、社会的価値と長期的な利益の両立を図るために、今後、企業はどのような活動を行い、それによってどのような長期的な利益を得ることができますか。みんなさんのアイデアを以下の表に合うように作成しましょう。

|                  |   |                                      |
|------------------|---|--------------------------------------|
| 社会的価値の提供         | → | 長期的な利益                               |
| 例:地域の伝統文化保存活動により | → | 例:地域との関係と信頼が強化され、地元に根付いた経営を行うことができる。 |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |

3 SDGs の目標を達成させるために、(1) 企業として(2) あなた個人として(3) 会計的側面として、どのような視点でビジネスをおこなっていけばいいと思いますか。SDGsの視点も含め、考えてください。数を多く出すことを重要視してください。

|   |
|---|
| (1) 企業として<br>例:再生可能エネルギーの利用                               |
| (2) あなた個人として(個人の消費活動含む)<br>例:エコバッグの使用、SDGsに取り組んでいる企業に就職する |
| (3) 会計的側面として<br>例:企業会計の正確な報告(虚偽の報告をしない)、環境に配慮した材料を使う      |

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

番号( )名前( )

## <振り返りシート>

1 グループ発表ではっきりと話すことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 他人の意見をしっかりと聞くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 発表の自己評価は

5 4 3 2 1

4 他の人の発表を聞いて、参考になったこと。

5 グループ発表を終えての感想、改善点など。

6 企業がさらに SDGs に積極的になるためにはどうしたらよいか。

## これより教師用参考資料

### 【意見共有】解答例

| 基礎学習で調べた Society5.0 をSDGsとの共通点と相違点について意見共有をしましょう。

#### Society5.0 とSDGsとの共通点

- ・持続可能な社会の実現→両者とも持続可能な社会を目指し、環境保護や社会的平等を推進する。
- ・人間中心のアプローチ→人々の生活の質を向上させることを重視する。
- ・包摂的な社会の実現→誰一人取り残さない社会を目指す。
- ・イノベーションの推進→技術革新を通じて社会課題を解決しようとする。
- ・グローバルな課題への対応→気候変動やエネルギー問題など、地球規模の課題に取り組む。
- ・経済成長と持続可能性の両立→経済的な成長と環境の持続可能性を両立させることを目指す。
- ・教育機会の均等→すべての人が質の高い教育を受けられるようにする。
- ・健康と福祉の向上→健康的な生活を促進し、福祉を向上させる。
- ・ジェンダー平等の推進→性別に関わらず平等な機会を提供する。
- ・パートナーシップの強化→多様なステークホルダー（利害関係者）との協力を重視する。

#### Society5.0 とSDGsとの相違点

- ・アプローチの違い→SDGs は国連が提唱する国際的な目標。Society 5.0 は日本政府が提唱する技術革新を基盤とした社会モデル。
- ・技術の活用→SDGs は技術に限定されず、広範な社会的取り組みを含む。Society 5.0 はAIやIoTなどの先進技術を積極的に活用。
- ・具体的な目標設定→SDGs は 17 の具体的な目標と 169 のターゲットが設定されている。Society 5.0 は明確な目標設定ではなく、技術を通じた社会課題の解決を目指す。
- ・対象範囲→SDGs はグローバルな視点で全世界を対象とする。Society 5.0 は主に日本国内を対象とするが、グローバルな影響も考慮。
- ・実施主体→SDGs と各国政府、企業、市民社会など多様な主体が関与。Society 5.0 は日本政府と企業が主導。
- ・経済成長の視点→SDGs は持続可能な経済成長を重視。Society 5.0 は経済成長と技術革新の両立を強調。
- ・環境へのアプローチ→SDGs は環境保護を直接的に目標に含む。Society 5.0 は技術を通じて間接的に環境問題を解決。
- ・時間軸→SDGs: 2030 年までの達成を目指す。Society 5.0: 長期的なビジョンを持つ。

2 ESG 投資とは、環境（Environmental）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の観点から企業を評価し、持続可能な社会を目指す投資手法です。SDGs（持続可能な開発目標）と連携し、企業の環境保護や社会貢献、透明な経営を重視します。会計的側面では、ESG 要素を考慮した財務分析が求められ、社会的価値と長期的な利益の両立を図ります。

(1) ESG投資によって、社会的価値と長期的な利益の両立を図るために、現在、多くの企業はどのような活動を行い、それによってどのような長期的な利益を得ようとしていますか。実際、今企業が行っている取組を、以下の表に合うように整理しましょう。

|                      |   |                          |
|----------------------|---|--------------------------|
| 社会的価値の提供             | → | 長期的な利益                   |
| 例：企業の環境保護活動によって      | → | 例：企業のブランドイメージが向上し利益につながる |
| 企業の再生可能エネルギーの利用によって、 | → | エネルギーコストが削減し利益につながる      |
| 企業の地域社会への貢献によって、     | → | 地域でのブランドイメージ向上し利益につながる   |
| 企業が SDGsの取組を行うことによって | → | 優秀な人材が確保できる              |
| 法令を遵守した企業経営を行うことによって | → | 投資家からの信頼が獲得でき利益につながる     |

(2) ESG 投資によって、社会的価値と長期的な利益の両立を図るために、今後、企業はどのような活動を行い、それによってどのような長期的な利益を得ることができますか。みんなのアイデアを以下の表に合うように作成しましょう。

|                  |   |                                      |
|------------------|---|--------------------------------------|
| 社会的価値の提供         | → | 長期的な利益                               |
| 例：地域の伝統文化保存活動により | → | 例：地域との関係と信頼が強化され、地元に根付いた経営を行うことができる。 |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |
|                  | → |                                      |

3 SDGs の目標を達成させるために、(1)企業として(2)あなた個人として(3)会計的側面として、どのような視点でビジネスをおこなっていけばいいと思いますか。SDGsの視点も含め、考えてください。数を多く出すことを重要視してください。

(1)企業として

リサイクルの導入、再生可能エネルギーの利用、フェアトレード製品の販売、環境に優しい材料を使う、従業員の幸福度を高める、働き方改革、地域貢献、学校で授業を行う、木を植える 等

(2)あなた個人として(個人の消費活動含む)

エコバッグの使用、節電の実践、ボランティア活動への参加、公共交通機関の利用、リサイクル、地元産の食材の購入、節水の実践、持続可能なファッションの選択、SDGsに取り組んでいる企業に就職する、など

(3)会計的側面として

企業会計の正確な報告(虚偽の報告をしない)、環境に配慮した材料を使う、再生エネルギーに見える、環境に関連する支出を増やす など

|             |  |          |
|-------------|--|----------|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）  |          |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）  |          |
| 単元          | 章  | 第12章 純資産 |
|             | 節  | 第2節 資本金  |
| 教材の<br>タイトル | クラウドファンディングから考える資金調達   |          |
| 教材から<br>の学び | 1 資金調達方法の種類を理解し、それぞれのメリット・デメリットを踏まえ、資金調達の意思決定をする能力を養う。<br>2 新しい資金調達の方法であるクラウドファンディングの理解を深め、種類によるメリット・デメリットを理解するとともに、クラウドファンディングの成功要因について考えを深めることができる。<br>3 根拠を明確にして説明する能力を養う。  |          |
| 時間数         | 2時間  |          |
| 授業の<br>進め方  | <クラウドファンディングから考える資金調達><br>1 ワークシートを配付し、1・2を活用しながらクラウドファンディングについて講義を行う。3・4については個人で考えさせる（1時間）。<br>2 5に沿ってグループでの意見共有を行う。5（3）を考えさせる前には、3について全体で意見共有を行うと、より学習効果が上がる。最後に5（3）について各グループから発表させ、全ての発表を聞いた後、個人での最終的な意思決定を行う（1時間）。 |          |

## クラウドファンディングから考える資金調達 授業計画

### ■本单元の位置付け

第12章 純資産

第2節 資本金

### ■本单元の目標

#### 1時間目

新しい資金調達の方法であるクラウドファンディングの理解を深め、種類によるメリット・デメリットを理解するとともに、クラウドファンディングの成功要因について考えを深めることができる。また、資金調達方法の種類のメリットとデメリットについて理解する。

#### 2時間目

資金調達方法の違いによるメリット・デメリットを整理し、根拠を明確にして意思決定をすることができる。また、他者の意見から自己の考え方を見直し、最終的な意思決定をすることができる。

### ■評価の規準

#### 【A】知識・技術

- ・クラウドファンディングや資金調達方法など、複数の方法についてのメリット・デメリットを整理し、違いについて説明することができる。

#### 【B】思考力・判断力・表現力

- ・クラウドファンディングの成功事例・失敗事例から成功する要因について見いだすことができる。
- ・資金調達方法の違いによるメリット・デメリットを整理し、根拠を明確にして意思決定をすることができる。また、他者の意見から自己の考え方を見直し、最終的な意思決定をすることができる。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・事前課題の取り組み状況。
- ・課題解決に対して、主体的に解決しようとしている。
- ・グループワークの中で積極的に発言している。

### ■留意事項

- ・グループワークが円滑に進むように、適宜教員から指導・助言を行う。

## 【クラウドファンディングから考える資金調達】

### 1 クラウドファンディングとは

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「個人または団体が考えたプロジェクトやアイデアを実現するために、賛同する不特定多数の人からインターネットを通じてお金を集める（出資してもらう）こと」です。

クラウドファンディングは、「手軽さ」「拡散性の高さ」「テストマーケティングにも使える有用性」といった点が魅力で新たな資金調達の仕組みとして近年注目されています。



### 2 クラウドファンディングの種類を調べてみましょう。

#### (1) 投資型クラウドファンディング

<内容>

<支援者のメリット>

<支援者のデメリット>

#### (2) 購入型クラウドファンディング

<内容>

<支援者のメリット>

<支援者のデメリット>

#### (3) 寄附型クラウドファンディング

<内容>

<支援者のメリット>

<支援者のデメリット>

### 3 資金調達（お金を集める）方法の比較をしてみましょう。

(1) あなたは、空を飛ぶ傘を開発するために資金（お金）を必要としています。次の3つの資金調達の方法から、それぞれメリットとデメリットを挙げてください（個人学習）。

- ①自己資金：貯金から1,000万円を投資する。
- ②銀行融資：金利（年利）2%で1,000万円を借りる。
- ③増資：新たに株式を発行して1,000万円を調達する。配当利回りは年4%。
- ④購入型クラウドファンディング：購入型クラウドファンディングで1,000万円を目標に資金を募る。

|                     | メリット | デメリット |
|---------------------|------|-------|
| ①自己資金               |      |       |
| ②銀行融資               |      |       |
| ③増資                 |      |       |
| ④購入型クラウド<br>ファンディング |      |       |

(2) 購入型クラウドファンディングを選択した場合、資金が集まった後、どのような会計的な責任や義務が生じるでしょうか（個人学習）。

4 クラウドファンディングの資金調達の成功事例と失敗事例を調べてみましょう  
(個人学習)

資金調達成功事例①<会社名>

<プロジェクト名>

<プロジェクトの内容>

<成功要因>

<資金調達成功後のその後> ※開発期間が延びた、事業継続できなかった、無事に開発できた等

資金調達失敗事例①<会社名>

<プロジェクト名>

<プロジェクトの内容>

<失敗要因>

## 【これよりグループ学習】

5 今までの学習を踏まえ、グループで意見共有をしましょう。

(1) クラウドファンディングの資金調達成功事例と失敗事例について調べてきたことを共有しましょう。

ア. 成功事例(メモ)

イ. 失敗事例(メモ)

(2) クラウドファンディングを成功させる要因は何だと思いますか。

(3) 今組んでいるグループで資金調達をします。3(1)(2)で学んだことを参考に資金調達方法を決定してください。条件は以下の通りとします。さまざまな角度から資金調達について考え、根拠を明確にして意思決定をしてください。

条件:①1億円を調達する。②当社の当座資産残高は1億2千万円である。③銀行で融資を受ける場合は年利2%、10年で返済する。④増資の場合は株主に毎年配当を行い、配当利回りは4%とする。⑤購入型クラウドファンディングでは5万円寄付してくれた人に原価1万円の新商品を送る。

グループで決定した資金調達方法(○を付ける)

自己資金・銀行借入・株式による増資・購入型クラウドファンディング

その理由(決定した資金調達方法と、他の資金調達方法を比較して根拠を明確にする)

**【これより全体意見共有】**

(4) 各グループで意思決定をした資金調達方法について全体で意見共有しましょう。自分たちが選択した以外のデメリットを発表してもらって構いません。全ての意見共有終了後、個人での最終的な意思決定をしてください(以下の表は意見を聞きながらメモをするための枠)。

|                 | メリット | デメリット |
|-----------------|------|-------|
| ①自己資金           |      |       |
| ②銀行融資           |      |       |
| ③増資             |      |       |
| ④購入型クラウドファンディング |      |       |

全体の意見共有後、個人で最終決定した資金調達方法(○を付ける)

自己資金・銀行借入・株式による増資・購入型クラウドファンディング

グループで決定した資金調達方法と 変わった・変わらなかった(○を付ける)

なぜ変わった(もしくは変わらなかった)のか??

年　組　番　氏名 \_\_\_\_\_

(      )年(      )組(      )番 名前(                )

## <振り返りシート>

1 事前課題にしっかり取り組むことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 グループワークで積極的に話すことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 他人の意見をしっかりと聞くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

4 グループで協力して新しい意見を導くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

5 他の人の発表を聞いて、参考になったこと。

6 グループワークを終えての感想、改善点など。

7 クラウドファンディングを成功させるためには、何が必要か？

## これより教師用参考資料

### 【クラウドファンディングから考える資金調達】

#### 1 クラウドファンディングとは

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「個人または団体が考えたプロジェクトやアイデアを実現するために、賛同する不特定多数の人からインターネットを通じてお金を集める（出資してもらう）こと」です。

クラウドファンディングは、「手軽さ」「拡散性の高さ」「テストマーケティングにも使える有用性」といった点が魅力で新たな資金調達の仕組みとして近年注目されています。



#### 2 クラウドファンディングの種類を調べてみましょう。

##### (1) 投資型クラウドファンディング

＜内容＞企業やプロジェクトに対して資金を提供し、その見返りとして株式や利益の一部を受け取る形式。スタートアップ企業や新規事業の資金調達手段として利用される。  
＜支援者のメリット＞投資した企業やプロジェクトが成功した場合、配当や株価の上昇による利益を得ることができる。成長が期待される企業に早期に投資できる点も魅力。  
＜支援者のデメリット＞投資にはリスクが伴い、企業やプロジェクトが失敗した場合、投資額を失う可能性がある。また、投資先の情報が限られていることもある。

##### (2) 購入型クラウドファンディング

＜内容＞支援者が新商品やサービスを事前に購入することで、プロジェクトを支援する形式。プロジェクトが成功すれば、支援者は商品やサービスを受け取ることができる。  
＜支援者のメリット＞支援者は新商品をいち早く手に入れることができ、また、プロジェクトの成功に貢献する満足感を得られる。  
＜支援者のデメリット＞プロジェクトが失敗した場合、商品やサービスが届かないリスクがある。また、商品の品質や納期が期待通りでないこともある。

##### (3) 寄附型クラウドファンディング

＜内容＞社会貢献や慈善活動を目的としたプロジェクトに対して寄付を行う形式。支援者は見返りを求めず、純粋にプロジェクトを支援する。  
＜支援者のメリット＞社会貢献や慈善活動に参加することで、満足感や達成感を得ることができる。また、寄付金の使途を知ることで、透明性の高い支援が可能。  
＜支援者のデメリット＞金銭的なリターンがないため、純粋に支援の意義を感じられる人向け。また、プロジェクトの進捗や成果が期待通りでない場合もある。

### 3 資金調達（お金を集める）方法の比較をしてみましょう（個人学習）。

(1) あなたは、空を飛ぶ傘を開発するために資金（お金）を必要としています。次の3つの資金調達の方法から、それぞれメリットとデメリットを挙げてください。

- ①自己資金：貯金から1,000万円を投資する。
- ②銀行融資：金利（年利）2%で1,000万円を借りる。
- ③増資：新たに株式を発行して1,000万円を調達する。配当利回りは年4%。
- ④購入型クラウドファンディング：購入型クラウドファンディングで1,000万円を目標に資金を募る。

|                 | メリット  | デメリット  |
|-----------------|---|--|
| ①自己資金           | 自己資金を使うため、返済義務や利息が発生しない。資金調達の手続きが簡単で迅速に進められる。外部の干渉を受けない。  | 自己資金を全額投資するため、個人の財務リスクが高まる。失敗した場合、全額を失う可能性がある。資金が限られる。     |
| ②銀行融資           | 銀行からの融資は比較的安定しており、計画的な返済が可能。自己資金を温存しつつ、必要な資金を確保できる。       | 金利が発生するため、返済総額が増える。返済義務がある。融資審査が厳しく、時間がかかる場合がある。           |
| ③増資             | 資金調達に成功すれば、返済義務がなく、資金を自由に使える。株主からの支援やアドバイスを受けられる可能性がある。   | 株式を発行することで、既存の株主の持ち分が希薄化する。配当金の支払い義務。株主の意見や要求に対応する必要がある。   |
| ④購入型クラウドファンディング | 多くの支援者から資金を集めため、リスクが分散される。プロジェクトの認知度が向上し、マーケティング効果が期待できる。 | 目標金額に達しない場合、資金が集まらないリスクがある。リターンとして商品やサービスを提供するため、コストが発生する。 |

(2) 購入型クラウドファンディングを選択した場合、資金が集まった後、どのような会計的な責任や義務が生じるでしょうか。

購入型クラウドファンディングで資金が集まった場合、以下の会計的な責任や義務が生じる。まず、集まった資金は「前受金」として計上され、支援者に対する商品やサービスの提供が完了するまで負債として扱われる。この時点で、支援者に対するサービスの提供が義務となる。商品やサービスの提供が完了した時点で「売上」に振り替えられる。また、クラウドファンディングプラットフォームに支払う手数料の支払いも生じる。これは「販売費及び一般管理費」として計上される。税務上は、売上として認識されるため法人税や所得税の対象となる。消費税の課税事業者であれば、消費税の申告と納付も必要である

4 クラウドファンディングの資金調達の成功事例と失敗事例を調べてみましょう  
(個人学習)

資金調達成功事例①<会社名>

<プロジェクト名>

<プロジェクトの内容>

<成功要因>

<資金調達成功後のその後> ※開発期間が延びた、事業継続できなかった、無事に開発できた等

資金調達失敗事例①<会社名>

<プロジェクト名>

<プロジェクトの内容>

<失敗要因>

## 【これよりグループ学習】

5 今までの学習を踏まえ、グループで意見共有をしましょう。

(1) クラウドファンディングの資金調達成功事例と失敗事例について調べてきたことを共有しましょう。

ア. 成功事例(メモ)

イ. 失敗事例(メモ)

(2) クラウドファンディングを成功させる要因は何だと思いますか。

(3) 今組んでいるグループで資金調達をします。3(1)(2)で学んだことを参考に資金調達方法を決定してください。条件は以下の通りとします。さまざまな角度から資金調達について考え、根拠を明確にして意思決定をしてください。

条件:①1億円を調達する。②当社の当座資産残高は1億2千万円である。③銀行で融資を受ける場合は年利2%、10年で返済する。④増資の場合は株主に毎年配当を行い、配当利回りは4%とする。⑤購入型クラウドファンディングでは5万円寄付してくれた人に原価1万円の新商品を送る。

グループで決定した資金調達方法(○を付ける)

自己資金・銀行借入・株式による増資・購入型クラウドファンディング

その理由(決定した資金調達方法と、他の資金調達方法を比較して根拠を明確にする)

**【これより全体意見共有】**

(4) 各グループで意思決定をした資金調達方法について全体で意見共有しましょう。自分たちが選択した以外のデメリットを発表してもらって構いません。全ての意見共有終了後、個人での最終的な意思決定をしてください(以下の表は意見を聞きながらメモをするための枠)。

|                 | メリット | デメリット |
|-----------------|------|-------|
| ①自己資金           |      |       |
| ②銀行融資           |      |       |
| ③増資             |      |       |
| ④購入型クラウドファンディング |      |       |

全体の意見共有後、個人で最終決定した資金調達方法(○を付ける)

自己資金・銀行借入・株式による増資・購入型クラウドファンディング

グループで決定した資金調達方法と 変わった・変わらなかった(○を付ける)

なぜ変わった(もしくは変わらなかった)のか??

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

|             |   |                     |
|-------------|---|---------------------|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）   |                     |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）   |                     |
| 単元          | 章   | 第7章 固定資産（その2 リース取引） |
|             | 節   | 第1節 リース取引の意味と分類     |
| 教材の<br>タイトル | リースとレンタルどちらが得？  |                     |
| 教材から<br>の学び | 1 リース取引とレンタルの意味と違いを理解する。<br>2 リースとレンタルのメリット、デメリットについて理解する。<br>3 非現金支出費用である減価償却費の節税効果を理解する。<br>4 ビジネスフレームワークとしてプロコンリストを作成し、幅広い視点から意思決定を行う。   |                     |
| 時間数         | 2時間   |                     |
| 授業の<br>進め方  | <リースとレンタルどちらが得?><br>1 講義を実施し、リースとレンタルについてまとめる。(25分)<br>2 ケースメソッドのアサインメント1・2・3・4を行い、経済的視点からリースとレンタルを比較する。(25分)<br>3 3~4人グループに分かれ、プロコンリストの作成を行いリースとレンタルについて幅広い視点で比較を行う。(25分)<br>4 最終的な意思決定について全体意見共有を行う。(25分) |                     |

## リースとレンタルどちらが得？ 授業計画

### ■本单元の位置付け

第7章 固定資産（その2 リース取引）

第1節 リース取引の意味と分類

### ■本单元の目標

1時間目

- ・リース取引とレンタルの意味や違いについて理解する。
- ・ケースメソッドを通じて、経済的視点からリースとレンタルを比較し、その違いを理解する。
- ・非現金支出費用の節税効果について理解する。

2時間目

- ・プロコンリストを用いて、幅広い視点からリースとレンタルを比較し、前時に比較した経済的視点も含め、根拠をもって意思決定することができる。

### ■評価規準

#### 【A】知識・技術

- ・リースとレンタルの会計的処理を身に付けている。
- ・非現金支出費用の節税効果について理解している。

#### 【B】思考・判断・表現

- ・ケース教材の内容から判断に必要な数値を算出し、経済的視点から意思決定することができる。
- ・プロコンリストを通じて、根拠をもって数値化することができる。
- ・あらゆる判断材料を用いて意思決定を行い、論理的に説明することができる。
- ・科学的な根拠に基づいて自身の考えを表現できる。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・課題解決に対して、主体的に解決しようとしている。
- ・グループ活動において、主体的に発言し積極的に取り組んでいる。

### ■留意事項

- ・グループワーク、プロコンリストの作成、発表が円滑に進むよう、適宜教員から指導・助言を行う。

【リースとレンタルどちらが得?】

## <リース取引>

リース物件の(①)である貸手が借手に対して、一定期間にわたり、その(②)を借用する(③)を与え、借手が一定の(④)を貸手に支払う取引である。



法形式上は賃貸借取引だが、実質的にはリース会社から資金を借り入れて固定資産を購入する取引と見ることができる。

・身近でリースされているモノやサービスを調べてみよう

例:車両、船舶、製造ロボットなど

## <レンタル>

代金と引き替えに商品を一定期間貸し出すことをいい、賃貸とも言われる。

・身近でレンタルされているモノやサービスを調べてみよう

例:ファッションレンタル、レンタカー、レンタル自転車など

<ケースメソッド教材>

名古屋製造(株)は新たに製造設備の導入を検討しています。選択肢として、リース契約とレンタル契約があります。どちらの方法が経済的に有利か、会計上どのように処理されるかを理解するために、経理部は調査を進めています。

| ① リース契約の場合                               | ② レンタル契約の場合           |
|--|-----------------------|
| 契約期間5年                                   | 契約期間5年                |
| 毎月のリース料は150,000円(利子込み)                   | 毎月のレンタル料は180,000円     |
| 契約終了時に設備は名古屋製造(株)に所有権が移転する(買取費用なし)       | 契約終了時に設備を返却する必要がある    |
| リース期間中の保守費用は全てリース会社負担                    | レンタル期間中の保守費用はレンタル会社負担 |
| 途中解約不可(途中解約すると、莫大な違約金)                   | 途中解約可                 |
| リース資産及びリース負債として貸借対照表に計上(耐用年数は5年、残存価額は0円) | 貸借対照表には計上されない         |

名古屋製造(株)は、どちらの方法が経済的に有利で、会計上の取り扱いがどのように異なるか、減価償却が発生することによる税金の違いも含めて明確にするために、以下のアサインメントを通じて比較検討する必要があると考えました。また、経済的な視点だけではなく幅広い視点で比較するために、プロコンリストも活用し最終的な意思決定をすることにしました。

アサインメント

1 リース契約とレンタル契約の会計処理の違いを明確にする目的でそれぞれの

①契約時(期首に購入)、②リース料(レンタル料)現金支払い時、③決算時の仕訳を示しなさい。

仕訳が必要ない場合は「仕訳なし」と記入すること。なお、レンタル料は「賃借料」とすること。

【リース契約】利子込み法

|   | 借 方 | 貸 方 |
|---|-----|-----|
| ① |     |     |
| ② |     |     |
| ③ |     |     |

【レンタル契約】

|   | 借 方 | 貸 方 |
|---|-----|-----|
| ① |     |     |
| ② |     |     |
| ③ |     |     |

2 今回の問題でのリース契約とレンタル契約の総費用を計算し、どちらが経済的に有利かを説明してください。

※よって、今回の問題では( )契約の方が経済的に有利です。理由は、総費用が  
( )円)安く済むためです。

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

3 一般的に費用の計上が税金に与える影響について以下の文章に合う形で語群を入れなさい。

<語群：増え、減、増加、減少>

・一般的に、費用が増えれば税金の支払い額は（　　）る。その理由は、費用が（　　）ると、税引前利益が（　　）し、その（　　）した利益に税率を掛けた額が支払うべき税金となるためです。

4 上記3を踏まえ、1年あたりの税金面ではどちらの契約がいくら有利でしょうか。税率を30%として考えなさい。

5 リース契約とレンタル契約のメリットとデメリットをプロコンリストにまとめてみましょう。

プロコンリストとは…「プロス：賛成意見」と「コンス：反対意見」の情報を整理、比較し、意思決定の参考素材を収集するためのフレームワークである。

#### 【ルール1】たくさん書き出す

賛成・反対どちらの立場であってもメリット・デメリットを思いつく限りたくさん記入していく。「これは当たり前すぎるの書き出すまでもないか」などと意識せず、たくさん書いていくことがポイントとなる。意見を集約するときには、プロコンリストに記入したことを中心に話が進んでいくため、小さなことや当然のように思えることでも記入していく。自分では当たり前のことであっても、周りの人にとっては斬新な意見であることもあるため、まずはたくさんのメリット・デメリットを記入していく。

#### 【ルール2】チームの全員で行う

プロコンリストを使用する場合は、会議に参加する全員で行う。人数が多いほど検証の精度が上がり、一人ひとりの意見を集めることができる。会議への参加意識が高まれば、最終的な決定に対しても支持されやすく、決定にもとづいた行動が起こりやすくなる。

#### 【ルール3】どのメリット・デメリットが重要か数値化する

たくさんのメリット・デメリットが出たら、メリットとデメリットの中でも最も重要度が大きいものを決めていく。メリットのなかで最もメリットが大きいもの、デメリットの中で最もデメリットであるものを選定する。メリット・デメリットそれぞれの重要度を計るために、書き出した1つずつのメリット・デメリットの横に5段階評価などで数字を記載する。数値化したらメンバー内で共有して合計値が高い順に並び替える。ここで注意するのは、メリット・デメリットにつけた数値の合計でどちらかを選択しないようにすること。大まかな目安として、合計値にはあまりとらわれないようにする。

【プロコンリストの活用例】画像及び説明文出典：株式会社デライティングオール <https://delighting.co.jp/blog/proscons/>

Pros Cons リスト（プロコンリスト）

| Pros (良い点) |                  | Cons (悪い点) |                  |
|------------|------------------|------------|------------------|
| ブッフェスタイル   | ・その時に安い材料を使える    | 5          | ・お客様のウォンツを把握しにくい |
|            | ・在庫食材を有効活用出来る    | 3          | ・来客数が利益率に大きく影響する |
|            | ・スタッフの数を減らせる     | 2          | ・食材ロスが多い         |
|            | ・・・続く            |            | ・・・続く            |
| 定食スタイル     | ・食材廃棄はブッフェよりも少ない | 4          | ・売れるかわからない在庫を抱える |
|            | ・販売価格を抑えやすい      | 5          | ・日替わり定食などアイデアが必要 |
|            | ・お客様のウォンツが把握しやすい | 3          | ・個別オーダー対応の手間     |
|            | ・・・続く            |            | ・・・続く            |

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

(1) まずはリース契約とレンタル契約のメリット、デメリットを思いつく限り考えてみましょう。インターネットを活用しても構いません。

| リース        |             |
|------------|-------------|
| 賛成意見（メリット） | 反対意見（デメリット） |
|            |             |
| レンタル       |             |
| 賛成意見（メリット） | 反対意見（デメリット） |
|            |             |

(2) 上記(1)で書き出したメリット・デメリットの中から重要度の高いものをそれぞれ4つ選択し、以下のプロコンリストに記入しましょう。記入に当たっては【ルール3】の説明をよく読んで作業をしてください。

|      | Pros（良い点） |  | Cons（悪い点） |  |
|------|-----------|--|-----------|--|
| リース  |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |
| レンタル |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |
|      |           |  |           |  |

年　組　番　氏名\_\_\_\_\_

6 今まで考えてきたアサインメント2・4・5から、リース契約及びレンタル契約におけるどちらの契約が名古屋製造(株)にとって有利かを検討し、どちらの契約を採用するか意思決定をしてください。なぜそのように意思決定をしたのか必ず理由を述べてください。

私たちの班は ( リース レンタル ) 契約をします(リース、レンタルどちらかに○をする)。

その理由は

7 今回の学習を通じて学んだこと、新たに発見した視点について記入してください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

## <振り返りシート>

1 積極的に発言できたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 グループの意見と理由については、満足しているか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 グループ討議は活発にできたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

4 グループ討議を終えて、良かったところ、印象に残ったところ、課題点など。

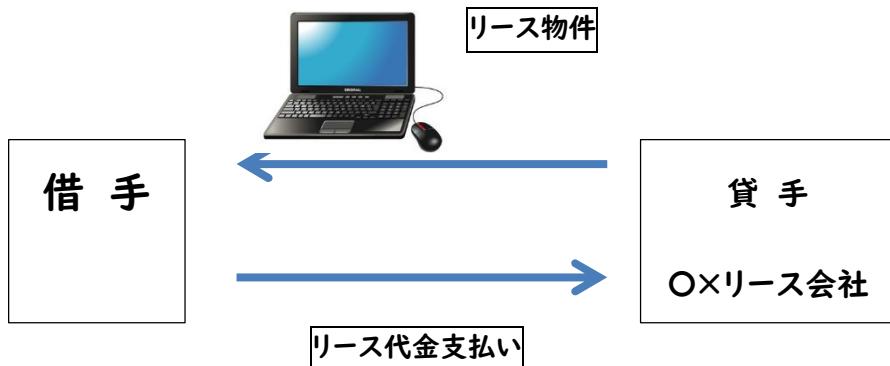
5 グループ討議を終えての感想、次回に向けての改善点など。

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

これより教師用参考資料  
【リースとレンタルどちらが得?】

### <リース取引>

リース物件の(①所有者)である貸手が借手に対して、一定期間にわたり、その(②リース物件)を使用する(③権利)を与え、借手が一定の(④リース料)を貸手に支払う取引である。



法形式上は賃貸借取引だが、実質的にはリース会社から資金を借り入れて固定資産を購入する取引と見ることができる。

- ・身近でリースされているモノやサービスを調べてみよう

例:車両、船舶、製造ロボットなど

オフィスビル(例:長期リース契約)、工場設備(例:生産ライン機器)、IT 機器(例:サーバー、ネットワーク機器)、医療機器(例:MRI、CT スキャナー)、建設機械(例:クレーン、ブルドーザー)、航空機(例:商用ジェット機)、鉄道車両(例:貨物列車、通勤電車)、発電設備(例:風力発電機、太陽光パネル)、農業機械(例:トラクター、コンバイン)、オフィス家具(例:デスク、椅子)、通信設備(例:基地局、アンテナ)、エレベーター(例:ビル用エレベーター)、冷凍・冷藏設備(例:冷凍庫、冷藏庫)など

### <レンタル>

代金と引き替えに商品を一定期間貸し出すことをいい、賃貸とも言われる。

- ・身近でレンタルされているモノやサービスを調べてみよう

例:ファッションレンタル、レンタカー、レンタル自転車など

スペースレンタル(例:スペースマーケット)、駐車場シェアリング(例:akippa)、ブランドバッグレンタル(例:Lexus) 家具レンタル(例:CLAS)、家電レンタル(例:Rentio)、カメラレンタル(例:GooPass)、農地レンタル(例:シェア畑)、オフィススペースレンタル(例:WeWork)、イベントスペースレンタル(例:Peatix)  
音楽機材レンタル(例:サウンドハウス)など

### <ケースメソッド教材>

名古屋製造（株）は新たに製造設備の導入を検討しています。選択肢として、リース契約とレンタル契約があります。どちらの方法が経済的に有利か、会計上どのように処理されるかを理解するために、経理部は調査を進めています。

| ① リース契約の場合                               | ② レンタル契約の場合            |
|--|------------------------|
| 契約期間5年                                   | 契約期間5年                 |
| 毎月のリース料は150,000円（利子込み）                   | 毎月のレンタル料は180,000円      |
| 契約終了時に設備は名古屋製造（株）に所有権が移転する（買取費用なし）       | 契約終了時に設備を返却する必要がある     |
| リース期間中の保守費用は全てリース会社が負担                   | レンタル期間中の保守費用はレンタル会社が負担 |
| 途中解約不可（途中解約すると、莫大な違約金）                   | 途中解約可                  |
| リース資産及びリース負債として貸借対照表に計上（耐用年数は5年、残存価額は0円） | 貸借対照表には計上されない          |

名古屋製造（株）は、どちらの方法が経済的に有利で、会計上の取り扱いがどのように異なるか、減価償却が発生することによる税金の違いも含めて明確にするために、以下のアサインメントを通じて比較検討する必要があると考えました。また、経済的な視点だけではなく幅広い視点で比較をするために、プロコンリストも活用し最終的な意思決定をすることにしました。

### アサインメント

1 リース契約とレンタル契約の会計処理の違いを明確にする目的でそれぞれの

①契約時（期首に購入）、②リース料（レンタル料）現金支払い時、③決算時の仕訳を示しなさい。

仕訳が必要ない場合は「仕訳なし」と記入すること。なお、レンタル料は「賃借料」とすること。

【リース契約】利子込み法

|   | 借 方             | 貸 方                    |
|---|-----------------|------------------------|
| ① | リース資産 9,000,000 | リース債務 9,000,000        |
| ② | リース債務 150,000   | 現金 150,000             |
| ③ | 減価償却費 1,800,000 | リース資産減価償却累計額 1,800,000 |

【レンタル契約】

|   | 借 方         | 貸 方        |
|---|-------------|------------|
| ① | 仕訳なし        |            |
| ② | 賃借料 180,000 | 現金 180,000 |
| ③ | 仕訳なし        |            |

2 今回の問題でのリース契約とレンタル契約の総費用を計算し、どちらが経済的に有利かを説明してください。

リース契約: 150,000円×60ヶ月 = 9,000,000円

レンタル契約: 180,000円×60ヶ月 = 10,800,000円

※よって、今回の問題では（リース契約）の方が経済的に有利です。理由は、総費用が（800,000円）安く済むためです。

3 一般的に費用の計上が税金に与える影響について以下の文章に合う形で語群を入れなさい。

<語群：増え、減、増加、減少、節税効果>

・一般的に、費用が増えれば税金の支払い額は（減）る。その理由は、費用が（増え）ると、税引前利益が（減少）し、その（減少）した利益に税率を掛けた額が支払うべき税金となるためです。

4 上記3を踏まえ、1年あたりの税金面ではどちらの契約がいくら有利でしょうか。税率を30%として考えなさい。

**考え方1（費用という視点だけで考えた解答）**

【リース契約】費用は減価償却費 $1,800,000 \times 0.3 = 540,000$ 円の節税効果

【レンタル契約】費用は賃借料 $180,000 \times 12 \times 0.3 = 648,000$ 円の節税効果

よって今回の問題では（レンタル）契約の方が（108,000）円有利である。

**考え方2（減価償却費は非現金支出費用という視点で考えた解答。授業ではこの考え方2をしっかり扱ってください）**

【リース契約】費用は減価償却費 $1,800,000 \times 0.3 = 540,000$ 円の節税効果

【レンタル契約】費用は賃借料 $180,000 \times 12 \times 0.3 = 648,000$ 円の節税効果

ではあるが、賃借料は現金が減少している。しかし、減価償却費は費用であるが現金は減少しない。

現金が減ることなくしかも、540,000円の節税効果がある【リース契約】の方有利といえる。

5 リース契約とレンタル契約のメリットとデメリットをプロコンリストにまとめてみましょう。

**【ルール1】たくさん書き出す**

賛成・反対どちらの立場であってもメリット・デメリットを思いつく限りたくさん記入していく。「これは当たり前すぎるの書き出すまでもないか」などと意識せず、たくさん書いていくことがポイントとなる。意見を集約するときには、プロコンリストに記入したことを中心に話が進んでいくため、小さなことや当然のように思えることでも記入していく。自分では当たり前のことであっても、周りの人にとっては斬新な意見であることもあるため、まずはたくさんのメリット・デメリットを記入していく。

**【ルール2】チームの全員で行う**

プロコンリストを使用する場合は、会議に参加する全員で行う。人数が多いほど検証の精度が上がり、一人ひとりの意見を集めることができる。会議への参加意識が高まれば、最終的な決定に対しても支持されやすく、決定にもとづいた行動が起こりやすくなる。

**【ルール3】どのメリット・デメリットが重要か数値化する**

たくさんのメリット・デメリットが出たら、メリットとデメリットの中でも最も重要度が大きいものを決めていく。メリットのなかで最もメリットが大きいもの、デメリットの中で最もデメリットであるものを選定する。メリット・デメリットそれぞれの重要度を計るために、書き出した1つずつのメリット・デメリットの横に5段階評価などで数字を記載する。数値化したらメンバー内で共有して合計値が高い順に並び替える。ここで注意するのは、メリット・デメリットにつけた数値の合計でどちらかを選択しないようにすること。大まかな目安として、合計値にはあまりとらわれないようにする。

【プロコンリストの活用例】画像及び説明文出典:株式会社デライティングオール <https://delighting.co.jp/blog/proscons/>

【プロコンリストの活用例】

Pros Cons リスト（プロコンリスト）

|              | Pros (良い点)       | Cons (悪い点) |                  |
|--------------|------------------|------------|------------------|
| ブッフェ<br>スタイル | ・その時に安い材料を使える    | 5          | ・お客様のウォンツを把握しにくい |
|              | ・在庫食材を有効活用出来る    | 3          | ・来客数が利益率に大きく影響する |
|              | ・スタッフの数を減らせる     | 2          | ・食材ロスが多い         |
|              | ・・・続く            |            | ・・・続く            |
| 定食<br>スタイル   | ・食材廃棄はブッフェより少ない  | 4          | ・売れるかわからない在庫を抱える |
|              | ・販売価格を抑えやすい      | 5          | ・日替わり定食などアイデアが必要 |
|              | ・お客様のウォンツが把握しやすい | 3          | ・個別オーダー対応の手間     |
|              | ・・・続く            |            | ・・・続く            |

画像及び説明文出典:株式会社ディライティングオール <https://delighting.co.jp/>

(1)まずはリース契約とレンタル契約のメリット、デメリットを思いつく限り考えてみましょう。

リース

| 賛成意見（メリット） | 反対意見（デメリット） |
|------------|-------------|
| -          | -           |

レンタル

| 賛成意見（メリット） | 反対意見（デメリット） |
|------------|-------------|
| -          | -           |

(2)上記(1)で書き出したメリット・デメリットの中から重要度の高いものをそれぞれ4つ選択し、以下のプロコンリストに記入しましょう。記入に当たっては【ルール3】の説明をよく読んで作業をしてください。

|      | Pros(良い点) | Cons(悪い点) |
|------|-----------|-----------|
| リース  |           |           |
|      |           |           |
|      |           |           |
|      |           |           |
| レンタル |           |           |
|      |           |           |
|      |           |           |
|      |           |           |

- 6 今まで考えてきたアサインメント2・4・5から、リース契約及びレンタル契約におけるどちらの契約が名古屋製造(株)にとって有利かを検討し、どちらの契約を採用するか意思決定をしてください。なぜそのように意思決定したのか必ず理由を述べてください。

私たちの班は（リース レンタル）契約をします(リース、レンタルどちらかに○をする)。

その理由は

- 7 今回の学習を通じて学んだこと、新たに発見した視点について記入してください。

---



---



---



---



---



---



---



---

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

|             |  |
|-------------|--|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）  |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）  |
| 単元          | 章 第9章 固定資産（その4 無形固定資産）   |
|             | 節 第2節 無形固定資産の取得原価  |
| 教材の<br>タイトル | 無形固定資産（のれん償却）  |
| 教材から<br>の学び | <p>1 のれんについての理解を深め、会計的側面から企業を分析する力を養う。</p> <p>2 日本国際会計基準と国際会計基準での「のれん」の会計処理の違いについて多面的に理解する。</p> <p>3 会計処理の違いから発生する利益額の違いについて理解するとともに、国際会計基準を採用している企業の特徴について理解する。</p>   |
| 時間数         | 2時間  |
| 授業の<br>進め方  | <p>&lt;無形固定資産（のれん償却）&gt;</p> <p>1 ワークシートを配付し、無形固定資産の意味と種類について講義を行う。その中でも特にのれんの計上方法について詳しく説明を行う。また、サッカークラブでは選手登録権が無形固定資産として計上されることにも触れる。(20分)</p> <p>2 ケースメソッドを配付し、事前アサインメントに取り組ませる。(30分)<br/>I F R S (国際会計基準)と日本会計基準とのれん償却の違いを考えさせるように授業を進めていく。減損損失は日商簿記1級の範囲であるが、日本会計基準と国際会計基準の違いを説明する上では必須の知識なので、発展した学習ではあるが、減損損失について資料を用いて説明する。</p> <p>3 ケースメソッドを実施し、グループ(10分)と全体(40分)で意見共有を行う。その後、振り返りシートの記入をさせる。<br/>アサインメント5についてはさまざまな考え方から多面的・多角的に判断するので、グループで最終の意思決定を議論させると学習効果が上がる。</p> |

## 無形固定資産（のれん償却） 授業計画

### ■本時の位置付け

第9章 固定資産（その4 無形固定資産）

第2節 無形固定資産の取得原価

### ■本時の目標

1 時間目

無形固定資産の種類と意味を理解し、のれんについての興味関心を深める。

2 時間目

のれんについてのケースメソッドを実施し、日本会計基準と国際会計基準での「のれん」の会計処理の違いについて多面的に理解するとともに、主体的に問題解決に取り組む態度を養う。

### ■評価の規準

#### 【A】知識・技術

- ・のれんの会計処理に関する基礎的な知識を身に付けている。
- ・日本会計基準と国際会計基準ののれんの償却方法の違いを理解している。

#### 【B】思考力・判断力・表現力

- ・日本会計基準と国際会計基準ののれんの扱いについて多面的に理解し、さまざまな角度からのれんについて探究し、自らの意思決定を行うことができる。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・事前アサインメントの取組状況。
- ・課題解決に対して、主体的に解決しようとしている。
- ・ケースメソッドにおいて、グループ内で積極的に発言している。

### ■留意事項

- ・ケースメソッドが円滑に進むように、適宜教員から指導・助言を行う。

## 【無形固定資産（のれん）償却：基礎学習】

### <のれんとは?>

法律上認められた権利ではないが、優秀な技術や有利な立地条件あるいは知名度などによって、その企業が他の（①）に比べて有利な立場にあり、より多くの収益を上げている場合に、その（②）の原因となるものをいう。

のれんは、事業の譲り受けまたは（③）などによって取得した場合にかぎって、（④）に計上することができる。

### ■のれんの償却

のれんは、その取得後（⑤年）以内その効果のおよぶ期間にわたって（⑥）などの方法により規則的に償却する。

### <参考>

### ■のれんの減損（財務会計Ⅱの範囲）

M&A（企業の合併＆買収）をした際の投資額が予定通り回収できそうにないときに、のれんの帳簿価額を回収できる額まで切り下げる必要がある。その時に発生する損失を「減損損失」という。

【例】M&A（企業の合併＆買収）によって企業を買収した際に、5億円をのれんとして計上していたが、経営難によって今後、3億円しか回収できそうにない場合、

### <計算式>

のれんの帳簿価額5億円 - 今後回収できると見込まれる価値3億円 = 2億円（減損損失）

※減損は損益計算書上の特別損失に計上する。よって、減損の額は企業利益に大きく影響する。

### ■IFRS（国際会計基準）

IFRS（国際会計基準）ではのれんは償却しない。ただし、減損しているのか、していないのかを測定する減損テストが行われ、将来回収できる価値が低下している場合は減損処理を行い、その損失は（減損損失）損益計算書の特別損失に計上する。一方で、日本会計基準では、のれんは20年で規則的に償却するとしている。

<参考資料>

ワールドカップの前に・・サッカー選手の価値は決算書に載る!?

2017年12月9日

### イタリアの名選手、値がつかず

サッカークラブにとって、選手は最大の財産といえます。では、クラブの経営状態を表す財務諸表で、選手の価値がどのように表現されているかご存知でしょうか。実は、一般企業と同じように、クラブが抱える資産と負債の額は貸借対照表(バランスシート)で記されます。ユースからそのままトップチームに昇格してプレーしている選手の場合、実は貸借対照表には何も計上されていません。その選手の「金額」がまだ決まっていないからです。しかし、他のクラブから獲得した選手の場合は違います。相手クラブに支払った移籍金の額が資産として計上され、契約年数によって減価償却されていきます。パソコンや機械設備など、一般企業の設備と同じ具合です。会計基準は国やクラブによって異なりますが、欧州ではこの方法が主流だそうです。イタリア 1 部リーグ(セリエA)のAC ミランで40歳までプレーしたパオロ・マルディーニという選手がいます。セリエAの史上最多出場674試合という金字塔を打ち立てた名選手ですが、ユースから引退までミラン一筋だったため、会計上は生涯、値段がつかないままでした。

### 英国プロサッカークラブにみる移籍金と契約金の会計処理

世界に名だたるビッククラブが存在する国は、イタリアだけではありません。現在も日本代表の各選手がクラブチームで活躍していますが、英国にもビッククラブが存在します。では、この英国におけるクラブチームでは、選手の移籍金や契約金に関して、どのような会計処理がなされているでしょうか。まず、欧州では、移籍金は選手自身の売買ではなく、「選手登録権」の売買と考えられています。そして、英国における、この選手登録権の会計処理方法は、選手登録権の獲得に関連して支出したコストは無形固定資産として計上され、支出金額は定額法で、それぞれの選手の契約期間に渡って全額償却されます。また、選手登録権は帳簿価額が使用または売却を通じて回収可能な額を超過している場合には、減損処理されます。では、契約金の会計処理はどのようになるのでしょうか。移籍金と契約金とでは、移籍金が他のプロサッカークラブに所属する選手の選手登録権を獲得する際の対価として、取引相手に対して支出した金額であるのに対し、契約金は一般的にプロサッカークラブが選手と契約する際に、選手に対して支出した金額という点で異なります。このような違いにより、契約金については、移籍金とは異なり、営業費用の一部として、選手の契約期間に渡り損益計算書に均等計上されたり(期間均等分割計上法~チャルシー等が採用)、契約日に一括して費用計上される(一括計上法~アーセナル等が採用)方法が採られています。

説明文出典:株式会社M-Cass

<https://m-cass.co.jp/blog/c01/25/>

## 【ケースメソッド】

### のれんの償却方法が日本会計基準と IFRS（国際会計基準）とで違うってホント??

ABC 商事は、国内で事業を展開する中小企業です。今後、ABC 商事は成長戦略の一環として、ABC 商事は多くの企業を買収し、経営の多角化を行っていく予定です。買収先は国内企業、海外の企業を問わず買収をしていく計画です。経理部の中堅社員である田中さんは、ある日、社長の佐藤に呼ばれました。ABC 商事が今後、企業の買収を進めていくにあたり、会計基準を現在の日本会計基準から※1 IFRS（国際会計基準）に変更すべきか悩んでいるとの相談を受けました。そして、日本会計基準と IFRS の「のれん」の処理方法とその影響について調べてほしいと言われました。田中さんは大きな仕事を任されたことに喜びを感じ、早速動き始めました。

日本の多くの企業が採用している会計のルールである日本会計基準では、のれんを 20 年以内で定額償却しますが、IFRS（国際会計基準）ではのれんを償却せず、価値が下がった場合にのみ※2 減損損失を計上します。田中さんは、この違いが企業の財務諸表にどのような影響を与えるかを考え始めました。

先ほどの話でもあったとおり、ABC 商事は IFRS の採用を検討していますが、まだ決定には至っていません。日本の上場企業は 2025 年 1 月現在、約 3,900 社あります。日本では IFRS の採用が可能になってから約 15 年経ちますが上場企業の約 7%である 278 社しか IFRS を採用していません。田中さんは、なぜ日本企業が IFRS に対して消極的なのか、そして IFRS を採用する企業が企業買収を積極的に行っている理由についても調査を始めました。

#### ※1 IFRS（国際会計基準）とは

IFRS（国際会計基準）とは、世界中の企業が使う共通の会計ルールのことです。これを使うことで、どの国の企業でも同じ基準で財務報告を行うことができ、企業の財務状況を国際的に比較しやすくなります。

#### ※2 減損損失とは（日商簿記Ⅰ級の内容）

減損損失とは、企業が持っている資産（例えば建物や機械など）の価値が大きく下がったときに、その価値の下がり具合を会計上で反映することです。

#### <減損損失の例>

例えば、企業が所有するビルの価値（例：帳簿価額5億円）が、経済状況の変化や市場の動向によって大幅に下がった（例：回収可能価額3億円）とします。この場合、企業はそのビルの価値を見直し、実際の価値に合わせて帳簿上の金額を減らします。この減らした金額が「減損損失」となります。

例：帳簿価額5億円 - 回収可能価額3億円 = 減損損失2億円（特別損失として計上）

#### <減損損失の目的>

減損損失を計上することで、企業の財務状況をより正確に反映することができます。これにより、投資家や取引先は企業の実際の状況を正しく理解することができ、信頼性が高まります。

**【アサインメント】**

1. 日本会計基準と IFRS ののれんの処理方法の違いを簡単に説明してください。

2. のれんの処理方法の違いが企業の利益に与える影響を考えてください。

3. なぜ日本企業は IFRS の採用に対して消極的なのでしょうか？その理由を考えてください。

4. IFRS を採用する企業が企業買収を積極的に行っている理由について考えてください。

5. 経理部の田中さんの調査から、ABC 商事は IFRS を採用したほうがいいですか。あなたが ABC 商事の佐藤社長であればどちらに意思決定をしますか。また、その理由を考えてください。

私が社長であれば IFRS を採用（ する ・ しない ）←どちらかに○を付ける。

<その理由>

年　　組　　番　　氏名 \_\_\_\_\_

## <振り返りシート>

1 事前課題にはしっかりと取り組むことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 グループ学習では全体を見ながらはっきりと話すことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 グループ学習では他人の意見をしっかりと聞くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

4 他の人の発表を聞いて、参考になったことや新たな気付き。

5 のれん償却について学んだこと。

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

## これより教師用参考資料

### 【無形固定資産（のれん）償却：基礎学習】

#### <のれんとは?>

法律上認められた権利ではないが、優秀な技術や有利な立地条件あるいは知名度などによって、その企業が他の（①同種企業）に比べて有利な立場にあり、より多くの収益を上げている場合に、その（②超過収益力）の原因となるものをいう。

のれんは、事業の譲り受けまたは（③合併）などによって取得した場合にかぎって、（④資産）に計上することができる。

#### ■のれんの償却

のれんは、その取得後（⑤20年）以内その効果のおよぶ期間にわたって（⑥定額法）などの方法により規則的に償却する。

#### <参考>

#### ■のれんの減損（財務会計Ⅱの範囲）

M&A（企業の合併＆買収）をした際の投資額が予定通り回収できそうにないときに、のれんの帳簿価額を回収できる額まで切り下げる必要がある。その時に発生する損失を「減損損失」という。

【例】M&A（企業の合併＆買収）によって企業を買収した際に、5億円をのれんとして計上していたが、経営難によって今後、3億円しか回収できそうにない場合、

#### <計算式>

のれんの帳簿価額5億円 - 今後回収できると見込まれる価値3億円 = 2億円（減損損失）

※減損は損益計算書上の特別損失に計上する。よって、減損の額は企業利益に大きく影響する。

#### ■IFRS（国際会計基準）

IFRS（国際会計基準）ではのれんは償却しない。ただし、減損しているのか、していないのかを測定する減損テストが行われ、そこで将来回収できる価値が低下している場合は減損処理を行い、その損失は（減損損失）損益計算書の特別損失に計上する。一方で、日本会計基準では、のれんは20年で規則的に償却するとしている。

## 【アサインメントの模範解答】

1. 日本会計基準と IFRS ののれんの処理方法の違いを簡単に説明してください。

日本会計基準では、のれんを 20 年以内で定額償却します。

IFRS はのれんを定額償却せず、価値が下がった場合にのみ減損損失を計上します。

2. のれんの処理方法の違いが企業の利益に与える影響を考えてください。

日本会計基準では毎年一定額の償却費用が発生するため、利益が安定して計上されます。

IFRS では減損損失が発生する場合、一度に大きな損失が計上される可能性があり、利益が大きく変動することがあります。また、毎年「のれん償却」という費用が発生しないので、利益を大きく見せることができます。

3. なぜ日本企業は IFRS の採用に対して消極的なのでしょうか？その理由を考えてください。

・コストと労力の増加: IFRS の導入には、企業の内部統制やシステムの変更が必要となり、これに伴うコストや労力が大きいです。特に中小企業にとっては、これらの負担が大きな障壁となります。

・複雑な基準と頻繁な変更: IFRS は複雑な基準を持ち、頻繁に変更されることがあります。これに対応するためには、専門知識を持つ人材の確保や継続的な教育が必要となり、企業にとって大きな負担となります。

・文化的・商習慣の違い: 日本の会計基準は、日本の経済や商習慣に基づいています。IFRS は国際的な基準であり、日本の文化や商習慣と異なる部分が多いため、導入に対する抵抗感があります。

・既存の会計基準への満足: 多くの日本企業は、現在の日本会計基準に満足しており、特に大きな問題を感じていません。そのため、新たな基準を導入する必要性を感じていない企業も多いです。

4. IFRS を採用する企業が企業買収を積極的に行っている理由について考えてください。

・国際的な比較可能性の向上: IFRS を採用することで、企業の財務情報が国際的に比較しやすくなります。これにより、海外の投資家や取引先からの信頼を得やすくなり、企業買収の際にも相手企業に対して財務状況を明確に示すことができます。

・資金調達の容易化: IFRS を適用することで、海外の投資家からの資金調達がしやすくなります。国際的に認知された基準を使用することで、投資家にとって財務情報が理解しやすくなり、資金調達のプロセスがスムーズに進むためです。

・のれんの償却が不要: IFRS ではのれんの償却が不要であり、価値が下がった場合にのみ減損損失を計上します。これにより、企業買収後の財務負担が軽減され、利益の変動が少なくなります。

5. 経理部の田中さんの調査から ABC 商事は IFRS を採用したほうがいいですか。あなたが ABC 商事の佐藤社長であればどちらに意思決定をしますか。また、その理由を考えてください。

私が社長であれば IFRS を採用（ する ・ しない ）←どちらかに○を付ける。

<その理由>

|             |  |
|-------------|--|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）  |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）  |
| 単元          | 章 第22章 財務諸表分析  |
|             | 節 第6節 財務諸表分析の実際  |
| 教材の<br>タイトル | どの会社の株を買う？   |
| 教材から<br>の学び | <p>1 企業の財務諸表（有価証券報告書）の見方を知る。</p> <p>2 収益性、効率性、安全性、成長性についての理解を深め、経営分析の方法を理解するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。</p> <p>3 まとめた経営分析についてグループワークを実施し、どの会社の株を買うのか問題解決する方法を体験する。</p> <p>4 さらに、経営分析についてのマイクロディベート（or グループワーク）を実施し、問題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>  |
| 時間数         | 4時間  |
| 授業の<br>進め方  | <p>&lt;どの会社の株を買う？&gt;</p> <p>1 ワークシートとトヨタ、日産、本田の3社の財務諸表を配付し、見方の講義を行う3社の2023年3月期から2024年3月期までのデータから収益性、効率性、安全性、成長性の経営分析を行う。（70分）</p> <p>3 3～4人グループに分かれ、個人で行った経営分析をグループ内で発表し、まとめる。（30分）</p> <p>4 グループでまとめた経営分析について全体発表を行い、意見共有を行う。（20分）</p> <p>5 マイクロディベート（or グループワーク）のやり方の説明を行い、2つのグループで1グループ1社を選び、ディベート（or グループワーク）の準備を行う。（30分）</p> <p>6 マイクロディベート（or グループワーク）の実施と振り返りを行う（1時間）。</p> |

## どの会社の株を買う？ 授業計画

### ■本時の位置付け

第22章 財務諸表分析

第6節 財務諸表分析の実際

### ■本時の目標

1時間目

ワークシートとトヨタ、日産、本田の3社の財務諸表を配付し、収益性、効率性、安全性、成長性の経営分析を行い、会計的側面から企業を分析する力を養う。

2時間目

3～4人グループに分かれ、個人で行った経営分析をグループ内で発表し、表現力を身に付ける。

3時間目

グループでまとめた経営分析について全体発表を行い、意見共有を行い、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

4時間目

マイクロディベート（or グループワーク）を実施し、主体的に問題解決に取り組み、主体的に学び続ける態度を養う。

### ■評価の規準

#### 【A】知識・技術

- ・財務諸表の見方に関する知識を身に付けている。
- ・経営分析の方法について理解しており、関連する技術を身に付けている。

#### 【B】思考力・判断力・表現力

- ・経営分析に関する課題の解決方法を発見することができる。
- ・科学的な根拠に基づいて自身の考えを表現できる。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・課題解決に対して、主体的に解決しようとしている。
- ・グループ活動において、主体的に積極的に取り組んでいる。

### ■留意事項

- ・財務諸表分析の講義は終わっていることを前提とする。
- ・グループワーク、発表、マイクロディベート（or グループワーク）が円滑に進むよう、適宜教員から指導・助言を行う。

## 【どの会社の株を買う?】

### 財務諸表分析

(① )や(② )などの財務諸表は、企業活動を描写する書類である。ここに記載される(③ )を分析して、企業の(④ )や(⑤ )の良否を判断し、その原因を明らかにすることを(⑥ )という。財務諸表分析を行うことにより、企業の(⑦ )を理解し、その(⑧ )を予測することができる。

トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業の3社の財務諸表（貸借対照表・損益計算書）より財務諸表分析を行ってみよう。（2023年3月期から2024年3月期までのデータ）

#### <収益性の分析>

|             | トヨタ           | 日産            | 本田            |               |               |               |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 総資本営業利益率(%) | 2023年<br>( %) | 2024年<br>( %) | 2023年<br>( %) | 2024年<br>( %) | 2023年<br>( %) | 2024年<br>( %) |
| 総資本経常利益率(%) | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 総資本利益率(%)   | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 自己資本利益率(%)  | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 売上高総利益率(%)  | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 売上高営業利益率(%) | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 売上高経常利益率(%) | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 売上高純利益率(%)  | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |
| 売上原価率(%)    | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          | ( %)          |

## &lt;効率性の分析&gt;

**トヨタ****日産****本田**

総資本回転率(回) ※総資本は期末の数値

(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)

商品回転率(回) ※商品は期末の数値

(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)

固定資産回転率(回) ※固定資産は期末の数

(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)

売上債権回転率(回)

(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)(　　回)

## &lt;安全性の分析&gt;

**トヨタ****日産****本田**

流動比率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

当座比率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

自己資本比率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

負債比率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

固定比率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

固定長期適合率(%)

(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)(　　%)

年　　組　　番　　氏名\_\_\_\_\_

## &lt;成長性の分析&gt;

|        | トヨタ<br>2024年3月期 | 日産<br>2024年3月期 | 本田<br>2024年3月期 |
|--------|-----------------|----------------|----------------|
| 増収率(%) | (      %)       | (      %)      | (      %)      |
| 売上高成長率 | (      %)       | (      %)      | (      %)      |
| 増益率(%) | (      %)       | (      %)      | (      %)      |
| 純利益成長率 | (      %)       | (      %)      | (      %)      |

## 財務諸表分析

## &lt;収益性の面から&gt;

## &lt;効率性の面から&gt;

## &lt;安全性の面から&gt;

## &lt;成長性の面から&gt;

私は、( )の株を買った方が良いと思います。  
なぜなら、

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

**グループワークの実施**

<議題>

どの会社の株を買う？

主張する会社を一つ決めて、その理由も考えよう。グループで意見を共有してみよう。そして、最終的にあなたはどこの会社の株を買いますか？

<主張する会社名>（個人での事前課題）

<主張する会社の良いところ（他者より優れているところ）>（個人での事前課題）

<グループ内での他者の意見>

<最終的にあなたはどこの会社の株を買いますか?>

<その理由は何ですか?>

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

**マイクロディベートの実施**

ディベートとは、ある論題について肯定側と否定側の2チームに分かれ、一定のルールのもとで行う論戦である。2つのグループ間で、主張する会社を決める。どちらの立場に立つか個人的な考えとは無関係に、じゃんけんやくじ引きで決める。ディベートではどちらのチームが審判（ジャッジ）を説得させられるかで勝ち負けを決める。

<議題>

どの会社の株を買う？

<主張する会社名>

<立論>議題について自分たちのチームの「主張」を明確に示し、その「根拠」を述べる。

<反論>相手の主張に対して反論し、自らの主張を守る。

<まとめ>自分たちの主張を要約し、審判に対して自分たちの優位性を訴える。

## &lt;ディベートを行う際に心がけること&gt;

- ・考え方や意見を論理的・効果的に説明する。
- ・相手の意思等を的確に理解する。
- ・わかりやすく伝える。
- ・相手の意見はどんなことでも必ずメモをする。
- ・自分の元々の意見は関係ない。あくまでも競技である。

## &lt;ディベート時間&gt;

- 1 肯定側立論:2分
- 2 否定側立論:2分
- 3 自由な議論:3分
- 4 作戦タイム:2分
- 5 否定側結論:2分
- 6 肯定側結論:2分
- 7 審判の判定

## &lt;ディベート 司会原稿&gt;

「これからディベートの試合を始めます。」

「私は、司会の(              )です。よろしくお願ひします。」

「ディベーターから、試合前の気持ちを一言ずつお願ひします。」「賛成派側お願ひします。」「反対派側お願ひします。」

「まず始めは、賛成側立論です。2分でお願いします。」

「次に、否定側立論です。2分でお願いします。」

「それでは自由な質問の議論の時間に移ります。相手に対して自由に意見を述べたり反論をしたり、質問をしたりすることができます。3分でお願いします。」

「ここで2分間作戦タイムに入ります。最後の結論で、反論したいことやこれだけは言っておきたいことをグループで相談して決めてください。始めてください。」

「それでは、結論は否定側の方から言ってもらいます。時間は2分です。始めてください。」「次に、肯定側結論です。2分でお願いします。」

「みなさんおつかれさまでした。審判の人たちは、判定の集計をしてください。時間は3分です。」「判定です。審判のみなさん、よろしくお願ひします。」

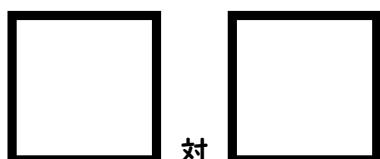
「今日は(              )側の勝利となりました。がんばったディベーターのみなさんに拍手を送りましょう。」

「これでディベートの試合を終わります。」

## ディベート判定シート

| 判定基準             | 肯定側   | 否定側   |
|------------------|-------|-------|
| 立論をはっきり説明しているか。  | 3 2 1 | 3 2 1 |
| 理由を説明しているか。      | 3 2 1 | 3 2 1 |
| 例や証拠を挙げて説明しているか。 | 3 2 1 | 3 2 1 |
| 相手の考えに反論しているか。   | 3 2 1 | 3 2 1 |
| 結論では説得力があるか。     | 3 2 1 | 3 2 1 |
| 声の大きさ・話し方・チームワーク | 3 2 1 | 3 2 1 |

### 判 定



対 □ で(肯定側／否定側)の勝ち

| 肯定側     |  |
|---------|--|
| 良かったところ |  |
| 改善するところ |  |
| 否定側     |  |
| 良かったところ |  |
| 改善するところ |  |

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

## ディベート振り返りシート

### (1) 今回事前準備について

① 自分の支持する立場について具体的な根拠まで調べることができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

② 想定される相手側からの質問とその答えについて考え、準備することができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

③ 相手側の立論についての質問を考え、準備することができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

### (2) ディベートについて

① 自分の考え方や意見を論理的・効果的に説明することができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

② 他者の意思等を的確に理解することができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

ディベートを終えて、良かったところ、印象に残ったところ、課題点など。

ディベートを終えての感想、次回に向けての改善点など。

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

【どの会社の株を買う?】

番号( )名前( )

## <振り返りシート>

1 事前課題にしっかり取り組むことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 グループワークで積極的に話すことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 他人の意見をしっかりと聞くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

4 グループで協力して新しい意見を導くことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

5 他の人の発表を聞いて、参考になったこと。

6 グループワークを終えての感想、改善点など。

## 【どの会社の株を買う?】

## 財務諸表分析

(①貸借対照表)や(②損益計算書)などの財務諸表は、企業活動を描写する書類である。ここに記載される(③会計情報)を分析して、企業の(④財政状態)や(⑤経営成績)の良否を判断し、その原因を明らかにすることを(⑥財務諸表分析)という。財務諸表分析を行うことにより、企業の(⑦現在の状況)を理解し、その(⑧将来の状況)を予測することができる。

トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業の3社の財務諸表(貸借対照表・損益計算書)より財務諸表分析を行ってみよう。(2023年3月期から2024年3月期までのデータ)

<収益性の分析> ※網掛けは2024年度の各比率の1位を示している。

|             | トヨタ     |                | 日産      |         | 本田      |                |
|-------------|---------|----------------|---------|---------|---------|----------------|
| 総資本営業利益率(%) | 2023年   | 2024年          | 2023年   | 2024年   | 2023年   | 2024年          |
|             | (7.2%)  | <b>(11.0%)</b> | (-4.2%) | (-0.2%) | (-0.1%) | (3.2%)         |
| 総資本経常利益率(%) | (15.2%) | <b>(19.8%)</b> | (5.7%)  | (6.4%)  | (15.0%) | (17.1%)        |
| 総資本利益率(%)   | (12.6%) | <b>(15.6%)</b> | (4.7%)  | (7.0%)  | (14.6%) | (13.8%)        |
| 自己資本利益率(%)  | (17.8%) | <b>(21.5%)</b> | (13.3%) | (18.3%) | (21.1%) | (21.4%)        |
| 売上高総利益率(%)  | (21.6%) | (26.5%)        | (3.7%)  | (8.1%)  | (32.1%) | <b>(34.0%)</b> |
| 売上高営業利益率(%) | (11.9%) | <b>(17.6%)</b> | (-7.4%) | (-0.3%) | (-0.1%) | (3.6%)         |
| 売上高経常利益率(%) | (25.0%) | <b>(31.7%)</b> | (10.0%) | (9.1%)  | (18.1%) | (18.9%)        |
| 売上高純利益率(%)  | (20.9%) | <b>(25.0%)</b> | (8.3%)  | (10.0%) | (17.6%) | (15.2%)        |
| 売上原価率(%)    | (78.4%) | (73.5%)        | (96.3%) | (91.9%) | (67.9%) | <b>(66.0%)</b> |

## NO.2(解答)

### <効率性の分析>

トヨタ

日産

本田

総資本回転率(回) ※総資本は期末の数値

(0.6回) (0.6回) (0.6回) (0.7回) (0.8回) (0.9回)

商品回転率(回) ※商品は期末の数値

(40.6回) (50.2回) (23.1回) (21.6回) (24.8回) (20.7回)

固定資産回転率(回) ※固定資産は期末の数値

(1.0回) (1.3回) (1.0回) (1.2回) (1.8回) (2.0回)

売上債権回転率(回)

(8.5回) (9.3回) (10.5回) (11.8回) (6.5回) (5.7回)

### <安全性の分析>

トヨタ

日産

本田

流動比率(%)

(182.8%) (246.6%) (122.0%) (129.6%) (291.7%) (202.2%)

当座比率(%)

(108.0%) (176.7%) (38.7%) (48.2%) (214.7%) (150.0%)

自己資本比率(%)

(71.0%) (72.6%) (35.4%) (38.4%) (69.3%) (64.5%)

負債比率(%)

(40.8%) (37.8%) (182.3%) (160.4%) (44.3%) (55.1%)

固定比率(%)

(140.8%) (137.8%) (161.9%) (155.5%) (64.9%) (70.3%)

固定長期適合率(%)

(75.7%) (62.6%) (88.1%) (86.6%) (55.4%) (62.1%)

### NO.3 (解答)

#### <成長性の分析>

|        | トヨタ      | 日産       | 本田       |
|--------|----------|----------|----------|
| 増収率(%) | 2024年3月期 | 2024年3月期 | 2024年3月期 |
| 売上高成長率 | (24.9%)  | (29.2%)  | (26.7%)  |
| 増益率(%) |          |          |          |
| 純利益成長率 | (49.8%)  | (55.7%)  | (9.8%)   |

#### 財務諸表分析

#### <収益性の面から>

トヨタ > 本田 > 日産

#### <効率性の面から>

本田 > トヨタ = 日産

#### <安全性の面から>

本田 > トヨタ > 日産

#### <成長性の面から>

日産 > トヨタ = 本田

#### <まとめ>

私は、( )の株を買った方が良いと思います。

なぜなら、

## 貸借対照表

トヨタ自動車

単位：百万円

2023年3月31日 2024年3月31日

## 資産の部

|          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| 現金及び預金   | 2,965,923 | 4,278,139  |
| 売掛金      | 1,665,652 | 1,888,956  |
| 有価証券     | 1,069,082 | 3,938,698  |
| 商品及び製品   | 271,851   | 257,113    |
| 仕掛品      | 92,409    | 91,278     |
| 原材料及び貯蔵品 | 606,535   | 533,511    |
| 短期貸付金    | 1,905,695 | 2,133,043  |
| その他      | 1,071,649 | 985,022    |
| 貸倒引当金    | -2,300    | -3,400     |
| 流動資産合計   | 9,646,496 | 14,102,360 |

## 固定資産

|            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 有形固定資産     |            |            |
| 建物         | 368,733    | 428,180    |
| 構築物        | 72,847     | 73,120     |
| 機械及び装置     | 276,458    | 276,405    |
| 車両運搬具      | 32,902     | 29,433     |
| 工具、器具及び備品  | 84,331     | 88,358     |
| 土地         | 476,445    | 473,723    |
| 建設仮勘定      | 182,132    | 289,744    |
| 有形固定資産合計   | 1,493,848  | 1,658,963  |
| 投資その他の資産   |            |            |
| 投資有価証券     | 8,396,332  | 9,001,303  |
| 関係会社株式・出資金 | 2,923,559  | 2,919,321  |
| 長期貸付金      | 306,069    | 116,715    |
| 繰延税金資産     | 203,011    | 15,691     |
| その他        | 307,705    | 397,302    |
| 貸倒引当金      | -46,700    | -49,700    |
| 投資その他の資産合計 | 12,089,976 | 12,400,632 |
| 固定資産合計     | 13,583,824 | 14,059,595 |
| 資産合計       | 23,230,320 | 28,161,955 |

## 負債の部

|            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 流動負債       |           |           |
| 電子記録債務     | 359,552   | 295,130   |
| 買掛金        | 1,264,905 | 1,177,710 |
| 長期借入金      | 131,000   | 58,000    |
| 1年内償還予定の社債 | 287,060   | 105,705   |
| 未払金        | 499,418   | 489,180   |
| 未払法人税等     | 124,141   | 864,385   |
| 未払費用       | 587,714   | 711,991   |
| 預り金        | 971,746   | 1,012,052 |
| 製品保証引当金    | 922,221   | 877,570   |
| 役員賞与引当金    | 904       | 2,415     |
| その他        | 128,447   | 125,224   |
| 流動負債合計     | 5,277,108 | 5,719,362 |

## 固定負債

|         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 社債      | 840,590   | 1,115,640 |
| 長期借入金   | 165,000   | 240,000   |
| 退職給付引当金 | 358,876   | 360,796   |
| その他     | 95,704    | 286,076   |
| 固定負債合計  | 1,460,170 | 2,002,512 |
| 負債合計    | 6,737,278 | 7,721,874 |

| 純資産の部        |                   |                   |
|--------------|-------------------|-------------------|
| 株主資本         |                   |                   |
| 資本金          | 635,402           | 635,402           |
| 資本剰余金        |                   |                   |
| 資本準備金        | 655,322           | 655,323           |
| その他資本剰余金     | 334               | 596               |
| 資本剰余金合計      | <u>655,656</u>    | <u>655,919</u>    |
| 利益剰余金        |                   |                   |
| 利益準備金        | 99,454            | 99,454            |
| その他利益剰余金     |                   |                   |
| 特別償却準備金      | 8                 | 2                 |
| 固定資産圧縮積立金    | 8,852             | 8,818             |
| 別途積立金        | 6,340,926         | 6,340,927         |
| 繰延利益剰余金      | 10,826,003        | 14,345,700        |
| 利益剰余金合計      | <u>17,275,243</u> | <u>20,794,901</u> |
| 自己株式         | <u>-3,741,727</u> | <u>-3,972,148</u> |
| 株主資本合計       | <u>14,824,574</u> | <u>18,114,074</u> |
| 評価・換算差額等     |                   |                   |
| その他有価証券評価差額金 | 1,668,468         | 2,326,007         |
| 評価・換算差額等合計   | <u>1,668,468</u>  | <u>2,326,007</u>  |
| 純資産合計        | <u>16,493,042</u> | <u>20,440,081</u> |
| 負債純資産合計      | <u>23,230,320</u> | <u>28,161,955</u> |

| 損益計算書        | トヨタ自動車           | 単位:百万円           |
|--------------|------------------|------------------|
|              | 2022年4月1日        | 2023年4月1日        |
|              | 2023年3月31日       | 2024年3月31日       |
| 売上高          | 14,076,956       | 17,575,593       |
| 売上原価         | 11,039,192       | 12,919,593       |
| 売上総利益        | <u>3,037,764</u> | <u>4,656,000</u> |
| 販売費及び一般管理費   | <u>1,367,280</u> | <u>1,561,506</u> |
| 営業利益         | <u>1,670,484</u> | <u>3,094,495</u> |
| 営業外収益        |                  |                  |
| 受取利息         | 156,740          | 306,401          |
| 受取配当金        | 1,575,737        | 1,281,540        |
| その他          | <u>425,349</u>   | <u>1,044,706</u> |
| 営業外収益合計      | <u>2,157,826</u> | <u>2,632,647</u> |
| 営業外費用        |                  |                  |
| 支払利息         | 19,998           | 32,795           |
| その他          | <u>287,464</u>   | <u>115,652</u>   |
| 営業外費用合計      | <u>307,462</u>   | <u>148,447</u>   |
| 経常利益         | <u>3,520,848</u> | <u>5,578,695</u> |
| 税引前当期純利益     | <u>3,520,848</u> | <u>5,578,695</u> |
| 法人税・住民税及び事業税 | 591,860          | 1,253,728        |
| 法人税等調整額      | -7,391           | -74,888          |
| 法人税等合計       | <u>584,469</u>   | <u>1,178,840</u> |
| 当期純利益        | <u>2,936,379</u> | <u>4,399,855</u> |

## 貸借対照表

## 日産自動車

単位:百万円

2023年3月31日 2024年3月31日

## 資産の部

|           |                  |                  |
|-----------|------------------|------------------|
| 現金及び預金    | 459,750          | 533,948          |
| 売掛金       | 308,806          | 354,071          |
| 商品及び製品    | 135,047          | 178,115          |
| 仕掛品       | 37,525           | 41,726           |
| 原材料及び貯蔵品  | 277,243          | 259,690          |
| 前払費用      | 29,764           | 42,364           |
| 関係会社短期貸付金 | 943,605          | 759,326          |
| 未収入金      | 175,476          | 159,839          |
| その他       | 85,998           | 94,283           |
| 貸倒引当金     | <b>-28,340</b>   | <b>-35,203</b>   |
| 流動資産合計    | <b>2,424,874</b> | <b>2,388,159</b> |

## 固定資産

## 有形固定資産

|           |                |                |
|-----------|----------------|----------------|
| 建物        | 220,228        | 221,185        |
| 構築物       | 27,543         | 27,459         |
| 機械及び装置    | 223,974        | 220,938        |
| 車両運搬具     | 7,619          | 7,351          |
| 工具、器具及び備品 | 138,959        | 124,228        |
| 土地        | 125,594        | 125,594        |
| 建設仮勘定     | 18,748         | 22,152         |
| 有形固定資産合計  | <b>762,665</b> | <b>748,907</b> |
| 無形固定資産合計  | <b>80,475</b>  | <b>91,007</b>  |

## 投資その他の資産

|            |                  |                  |
|------------|------------------|------------------|
| 投資有価証券     | 30,214           | 47,649           |
| 関係会社株式     | 2,158,171        | 2,087,837        |
| 関係会社長期貸付金  | 40,000           | 227,831          |
| 繰延税金資産     | 158,391          | 296,962          |
| その他        | 37,056           | 42,034           |
| 貸倒引当金      | <b>-419</b>      | <b>-414</b>      |
| 投資その他の資産合計 | <b>2,423,413</b> | <b>2,701,899</b> |
| 固定資産合計     | <b>3,266,553</b> | <b>3,541,813</b> |

## 繰延資産

|        |                  |                  |
|--------|------------------|------------------|
| 社債発行費  | 5,428            | 4,025            |
| 繰延資産合計 | <b>5,429</b>     | <b>4,026</b>     |
| 資産合計   | <b>5,696,856</b> | <b>5,933,998</b> |

## 負債の部

### 流動負債

|               |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|
| 電子記録債務        | 342,407          | 403,560          |
| 買掛金           | 605,594          | 642,892          |
| 短期借入金         | 78,704           | 178,928          |
| 1年内償還予定の長期借入金 | 73,858           | 26,000           |
| コマーシャル・ペーパー   | -                | 45,000           |
| 1年内償還予定の社債    | 287,600          | -                |
| リース債務         | 33,681           | 16,251           |
| 未払金           | 47,888           | 44,412           |
| 未払費用          | 374,597          | 350,564          |
| 未払法人税等        | 8,142            | 7,515            |
| 契約負債          | 5,060            | 3,252            |
| 前受金           | 7,034            | 1,700            |
| 預り金           | 57,958           | 60,048           |
| 製品保証引当金       | 22,707           | 30,431           |
| その他           | 43,129           | 31,855           |
| <b>流動負債合計</b> | <b>1,988,359</b> | <b>1,842,408</b> |

### 固定負債

|               |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|
| 社債            | 1,317,528        | 1,460,028        |
| 長期借入金         | 236,000          | 210,000          |
| リース債務         | 30,464           | 22,647           |
| 製品保証引当金       | 45,577           | 67,558           |
| 退職給付引当金       | 42,963           | 33,627           |
| 関係会社事業損失引当金   | 3,055            | 6,755            |
| その他           | 14,788           | 12,608           |
| <b>固定負債合計</b> | <b>1,690,375</b> | <b>1,813,223</b> |
| <b>負債合計</b>   | <b>3,678,734</b> | <b>3,655,631</b> |

## 純資産の部

|              |                  |                  |
|--------------|------------------|------------------|
| 株主資本         |                  |                  |
| 資本金          | 605,813          | 605,813          |
| 資本剰余金        |                  |                  |
| 資本準備金        | 804,470          | 804,470          |
| 資本剰余金合計      | <b>804,470</b>   | <b>804,470</b>   |
| 利益剰余金        |                  |                  |
| 利益準備金        | 53,838           | 53,838           |
| その他利益剰余金     |                  |                  |
| 買換資産圧縮積立金    | 53,369           | 53,013           |
| 特別償却積立金      | 3                | 4                |
| 繰延利益剰余金      | 547,265          | 772,262          |
| 利益剰余金合計      | <b>654,475</b>   | <b>879,117</b>   |
| 自己株式         | <b>-25,373</b>   | <b>-13,381</b>   |
| 株主資本合計       | <b>2,039,385</b> | <b>2,276,019</b> |
| 評価・換算差額等     |                  |                  |
| その他有価証券評価差額金 | 3,148            | 2,395            |
| 繰延ヘッジ損金      | -24,411          | -47              |
| 評価・換算差額等合計   | <b>-21,263</b>   | <b>2,348</b>     |
| 純資産合計        | <b>2,018,122</b> | <b>2,278,367</b> |
| 負債純資産合計      | <b>5,696,856</b> | <b>5,933,998</b> |

## 損益計算書

## 日産自動車

単位:百万円

|                | 2022年4月1日  | 2023年4月1日  |
|----------------|------------|------------|
|                | 2023年3月31日 | 2024年3月31日 |
| 売上高            | 3,240,618  | 4,187,227  |
| 売上原価           | 3,121,587  | 3,847,302  |
| 売上総利益          | 119,031    | 339,925    |
| 販売費及び一般管理費     | 357,251    | 351,768    |
| 営業利益           | -238,220   | -11,843    |
| 営業外収益          |            |            |
| 受取利息           | 23,873     | 32,088     |
| 受取配当金          | 596,173    | 381,631    |
| 受取保証料          | 10,712     | 11,755     |
| デリバティブ収益       | 50,817     | 89,240     |
| 貸倒引当金戻入額       | 11,871     | 2,888      |
| その他            | 2,407      | 2,321      |
| 営業外収益合計        | 695,853    | 519,923    |
| 営業外費用          |            |            |
| 支払利息           | 55,848     | 56,938     |
| 為替差損           | 65,243     | 52,147     |
| 貸倒引当金繰入額       | 3,073      | 9,733      |
| その他            | 9,133      | 6,877      |
| 営業外費用合計        | 133,297    | 125,695    |
| 経常利益           | 324,336    | 382,385    |
| 特別利益           |            |            |
| 固定資産売却益        | 129        | 60         |
| 関係会社株式売却益      | 263        | -          |
| 投資有価証券売却益      | 24         | -          |
| 関係会社事業損失引当金戻入額 | -          | 2,613      |
| その他            | 26         | 275        |
| 特別利益合計         | 442        | 2,948      |
| 特別損失           |            |            |
| 固定資産売却損        | 457        | 382        |
| 固定資産廃棄損        | 9,719      | 8,540      |
| 関係会社株式評価損      | 8,293      | 65,796     |
| 関係会社事業損失引当金繰入額 | 2,560      | 6,313      |
| 棚卸資産評価損        | 5,859      | -          |
| その他            | 21,545     | 1,681      |
| 特別損失合計         | 48,433     | 82,712     |
| 税引前当期純利益       | 276,345    | 302,621    |
| 法人税・住民税及び事業税   | 20,181     | 34,007     |
| 法人税等調整額        | -12,132    | -149,229   |
| 法人税等合計         | 8,049      | -115,222   |
| 当期純利益          | 268,296    | 417,843    |

## 貸借対照表

本田技研工業

単位：百万円

2023年3月31日 2024年3月31日

## 資産の部

|          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 現金及び預金   | 1,010,606 | 986,705   |
| 売掛金      | 552,975   | 797,725   |
| 有価証券     | 184,994   | 254,965   |
| 商品及び製品   | 98,122    | 145,189   |
| 仕掛品      | 30,786    | 30,684    |
| 原材料及び貯蔵品 | 39,833    | 41,178    |
| 前払費用     | 9,889     | 12,710    |
| 繰延税金資産   | 243,049   | 234,763   |
| その他      | 205,925   | 245,118   |
| 貸倒引当金    | -347      | -329      |
| 流動資産合計   | 2,375,832 | 2,748,708 |

## 固定資産

## 有形固定資産

|           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 建物        | 232,149 | 235,121 |
| 構築物       | 31,303  | 30,716  |
| 機械及び装置    | 146,452 | 132,081 |
| 車両運搬具     | 4,791   | 4,031   |
| 工具、器具及び備品 | 23,257  | 22,929  |
| 土地        | 335,963 | 339,008 |
| リース資産     | 9,033   | 8,613   |
| 建設仮勘定     | 17,930  | 21,084  |
| 有形固定資産合計  | 800,878 | 793,583 |

## 無形固定資産

|          |        |        |
|----------|--------|--------|
| ソフトウェア   | 49,020 | 61,056 |
| リース資産    | 0      | 0      |
| その他      | 2,746  | 2,602  |
| 無形固定資産合計 | 51,766 | 63,658 |

## 投資その他の資産

|            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 投資有価証券     | 262,887   | 384,612   |
| 関係会社株式     | 612,273   | 794,449   |
| 関係会社出資金    | 88,740    | 88,740    |
| 長期貸付金      | 3         | 4,688     |
| 繰延税金資産     | 45,530    | 39,884    |
| その他        | 82,304    | 110,851   |
| 貸倒引当金      | -3,570    | -2,806    |
| 投資その他の資産合計 | 1,088,167 | 1,420,418 |

## 固定資産合計

|      |           |           |
|------|-----------|-----------|
| 資産合計 | 4,316,643 | 5,026,367 |
|------|-----------|-----------|

| 負債の部       |         |           |
|------------|---------|-----------|
| 流動負債       |         |           |
| 支払手形       | 35      | -         |
| 電子記録債務     | 30,008  | 36,082    |
| 買掛金        | 275,071 | 307,002   |
| 短期借入金      | 69,050  | 78,736    |
| 1年内償還予定の社債 | -       | 191,410   |
| リース債務      | 4,675   | 3,751     |
| 未払金        | 117,598 | 201,313   |
| 未払法人税等     | 179,508 | 249,868   |
| 前受金        | 1,886   | 11,273    |
| 未払費用       | 9,654   | 8,780     |
| 預り金        | 3,517   | 4,346     |
| 前受収益       | 2,554   | 2,522     |
| 製品保証引当金    | 65,353  | 96,070    |
| 賞与引当金      | 47,047  | 55,080    |
| 役員賞与引当金    | 227     | 331       |
| 執行役員賞与引当金  | 85      | -         |
| 移転価格調整引当金  | -       | 99,727    |
| その他        | 8,146   | 12,936    |
| 流動負債合計     | 814,414 | 1,359,227 |

| 固定負債        |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| 社債          | 427,211   | 284,970   |
| 長期借入金       | 8         | 5         |
| リース債務       | 7,128     | 5,963     |
| 製品保証引当金     | 54,349    | 102,986   |
| 退職給付引当金     | 14,667    | 14,730    |
| 役員株式給付引当金   | 429       | 695       |
| 執行役員株式給付引当金 | 362       | 99        |
| その他         | 6,813     | 16,202    |
| 固定負債合計      | 510,967   | 425,650   |
| 負債合計        | 1,325,381 | 1,784,877 |

| 純資産の部        |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| 株主資本         |           |           |
| 資本金          | 86,067    | 86,067    |
| 資本剰余金        |           |           |
| 資本準備金        | 170,313   | 170,313   |
| その他資本剰余金     | 623       | -         |
| 資本剰余金合計      | 170,936   | 170,313   |
| 利益剰余金        |           |           |
| 利益準備金        | 21,516    | 21,516    |
| その他利益剰余金     |           |           |
| 圧縮記帳積立金      | 16,259    | 16,132    |
| 繰延利益剰余金      | 3,112,681 | 3,380,129 |
| 利益剰余金合計      | 3,150,456 | 3,417,777 |
| 自己株式         | -485,023  | -550,927  |
| 株主資本合計       | 2,922,436 | 3,123,230 |
| 評価・換算差額等     |           |           |
| その他有価証券評価差額金 | 68,826    | 118,260   |
| 評価・換算差額等合計   | 68,826    | 118,260   |
| 純資産合計        | 2,991,262 | 3,241,490 |
| 負債純資産合計      | 4,316,643 | 5,026,367 |

## 損益計算書

## 本田技研工業

単位:百万円

|              | 2022年4月1日     | 2023年4月1日  |
|--------------|---------------|------------|
|              | 2023年3月31日    | 2024年3月31日 |
| 売上高          | 3,586,447     | 4,544,669  |
| 売上原価         | 2,435,622     | 2,999,066  |
| 売上総利益        | 1,150,825     | 1,545,603  |
| 販売費及び一般管理費   | 1,156,180     | 1,383,988  |
| 営業利益         | <b>-5,355</b> | 161,615    |
| 営業外収益        |               |            |
| 受取利息         | 5,322         | 26,648     |
| 受取配当金        | 646,201       | 624,616    |
| その他          | 54,734        | 128,164    |
| 営業外収益合計      | 706,257       | 779,428    |
| 営業外費用        |               |            |
| 支払利息         | 10,190        | 10,756     |
| その他          | 43,290        | 71,276     |
| 営業外費用合計      | 53,480        | 82,032     |
| 経常利益         | 647,422       | 859,011    |
| 特別損失         |               |            |
| 移転価格税制調整金    | -             | 99,727     |
| 特別損失合計       | -             | 99,727     |
| 税引前当期純利益     | 647,422       | 759,284    |
| 法人税・住民税及び事業税 | 71,098        | 82,316     |
| 法人税等調整額      | -54,435       | -15,727    |
| 法人税等合計       | 16,663        | 66,589     |
| 当期純利益        | 630,759       | 692,695    |

|             |   |                |
|-------------|---|----------------|
| 分野名         | 会計分野（財務会計Ⅰ）   |                |
| 教科書         | 高校財務会計Ⅰ（実教出版）   |                |
| 単元          | 章   | 第23章 連結財務諸表の活用 |
|             | 節   | 第2節 連結財務諸表の活用  |
| 教材の<br>タイトル | ビジネスプレゼンテーション（企業の環境会計についての取り組み）   |                |
| 教材から<br>の学び | 1 環境会計の意味を理解し、興味関心を深める。<br>2 環境会計を導入するメリットを理解し、SDGsやESGにかかわる手法として、会計的側面から企業を分析する力を養う。<br>3 企業の環境会計についての取り組みをまとめ、プレゼンテーションを実施し、問題解決に向けて主体的に取り組む態度を育成する。          |                |
| 時間数         | 4時間   |                |
| 授業の<br>進め方  | <p>&lt;ビジネスプレゼンテーション&gt;</p> 1 ワークシートを用いて企業の環境会計について講義を行う。（20分）<br>2 企業の財務諸表を調べながら、環境会計についての取り組みを調べ、プレゼンテーション作成を行う。（30分+2時間）<br>3 プrezentationの実施と振り返りを行う（1時間）。 |                |

## ビジネスプレゼンテーション 授業計画

### ■本時の位置付け

第23章 連結財務諸表の活用

第2節 連結財務諸表の活用

### ■本時の目標

1～3時間目

環境会計を導入するメリットを理解し、プレゼンテーションを作成することにより会計的側面から企業を分析する力を養う。

4時間目

環境会計についての取り組みをまとめ、問題解決にむけて主体的に取り組む態度を育成し、プレゼンテーションを実施し、表現力を身に付ける。

### ■評価の規準

#### 【A】知識・技術

- ・環境会計の意味を理解し、その知識を身に付けている。
- ・環境会計導入するメリットを理解しており、関連する技術を身に付けている。

#### 【B】思考力・判断力・表現力

- ・プレゼンテーションを実施し、企業の環境関係について取り組みをまとめ、自身の考えを表現できる。
- ・プレゼンテーションの中で見やすさや色の使い方、アニメーションなどの工夫がされている。

#### 【C】主体的に学習に取り組む態度

- ・プレゼンテーション作成に積極的に取り組んでいる。
- ・振り返りシートの記入から、主体的に取り組む態度を身に付けている。

### ■留意事項

- ・プレゼンテーション作成が円滑に進むよう、適宜教員から指導・助言を行う。

### 【ビジネスプレゼンテーション】

企業の環境会計についての取り組みを調べてみよう

<環境会計とは?>

環境会計とは、企業が取り組む「環境保全活動に関する費用や効果」を(① )し、環境保全への取り組みを(② )に評価する会計手法を指します。

企業が行った CO<sub>2</sub> 削減の場合



削減できた量やかかったコストなどを金額やグラムで数値化する。

環境省が定めた「環境会計ガイドライン」では、以下の3つを記載すべき情報としてあげている。

(1) 環境保全コスト

(2) 環境保全効果

(3) 環境保全対策に伴う経済効果

#### ■環境会計で記載すべき内容(一例)

##### 1.環境保全コスト

| 分類       | 取組内容      | 2021年        | 2022年        |
|----------|-----------|--------------|--------------|
| 温暖化防止コスト | 二酸化炭素削減   | 15,000,000 円 | 20,000,000 円 |
| 環境保全コスト  | 省エネ機器設備導入 | 11,500,000 円 | 10,000,000 円 |

##### 2.環境保全効果コスト

| 分類    | 取組内容             | 2021年        | 2022年        |
|-------|------------------|--------------|--------------|
| 電気使用量 | 百 kWh            | 1,300,000 円  | 1,500,000 円  |
| ガス使用量 | 百 m <sup>3</sup> | 11,500,000 円 | 10,000,000 円 |

##### 3.環境保全対策に伴う経済効果

| 分類                  | 2021年        | 2022年        |
|---------------------|--------------|--------------|
| 省エネ機器導入によるエネルギー費削減額 | 10,500,000 円 | 12,500,000 円 |

#### ■環境会計を導入する目的

CO<sub>2</sub> 削減などの取り組みへのコストや経済効果を数値で表すことで費用対効果がより正確に把握できるようになる。

投資家や消費者などのステークホルダーは、数値化されていることで企業がどれほど環境への取り組みをしているかの指標になる。

説明文出典:脱炭素経営の教科書

<https://tanso-man.com/>

環境会計の導入は、直接経営に関わるコストではないが、周辺地域への投資や支出により企業価値が上がる可能性があるため、中長期的には、非常に大きなメリットとなる。

### ■環境会計を導入している企業例

#### 森永製菓

同社は、「食を通じた社会課題の解決と持続可能な社会の実現」を目指し事業を行っています。

具体的には、以下のような取り組みを行っています。

カカオ農家への研修や支援活動

工場での CO<sub>2</sub> 排出量を 2005 年度比 2020 年末までに 15% 削減

環境負荷を考慮した FSC 認証紙を使用したパッケージなど

実際には、環境会計での環境保全効果として CO<sub>2</sub> 排出量の数値が前年度より上昇しています。

#### トヨタ自動車

トヨタは独自に「トヨタ環境チャレンジ 2050」を掲げ、環境保全活動を推進しています。具体的な取り組みは以下の通りです。

2010 年比グローバル新車の平均 CO<sub>2</sub> 排出量 9 割削減

各国の事情に合った水使用量の最小化や排水管理

リサイクル技術やシステムのグローバル展開 など

環境会計の報告の数値をみると、電力の減少、都市ガス使用量は横ばいの傾向がみられました。

さらに、生産台数の水使用量の合計も少しづつ減少しています。

#### キリングループ

独自に「キリングループ環境ビジョン 2050」を発表しました。設定した内容は、生物資源や水資源、容器包装、気候変動の 4 つです。主な取り組みは以下の通りです。

持続可能な農産物の育成

水資源保全活動や水害のリスク軽減

サステナブルな容器包装の開発・普及

バリューチェーン全体の温室効果ガスの排出量の実質ゼロなど

このように、キリングループでは、持続可能な社会への実現に向けて環境保全活動に取り組み次世代に良い影響を及すことを目指しています。環境会計の観点で見ると、過去 5 年間で水資源の使用量を約 12,000 千 m<sup>3</sup> 削減に成功しています。また、包装容器の資源使用を約 200 千 t 減少させるなどの成果がみられました。

説明文出典：脱炭素経営の教科書

<https://tanso-man.com/>

【ビジネスプレゼンテーション】

企業の環境会計についての取り組みを調べてみよう　※まとめを行い、パワーポイントで作成

会社名

事業内容（仕事内容）

過去3年間の売上高・当期純利益（企業ホームページや有価証券報告書で財務諸表を調べる）

環境会計への取り組み（できるだけ詳しく）

ビジネスプレゼンテーション

番号( )名前( )

## <振り返りシート>

1 発表では全体を見ながらはっきりと話すことができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

2 パワーポイントでは見やすさ(色使いや画像、アニメーションなど)の工夫ができたか。

できた まあできた あまりできなかった できなかった

3 発表の自己評価

5 4 3 2 1

4 他の人の発表を聞いて、参考になったこと。

5 発表を終えての感想、改善点など。

6 企業が環境会計に積極的になるためにはどうしたら良いか。

## 【ビジネスプレゼンテーション】

企業の環境会計についての取り組みを調べてみよう

<環境会計とは?>

環境会計とは、企業が取り組む「環境保全活動に関する費用や効果」を（①数値化）し、環境保全への取り組みを（②定量的）に評価する会計手法を指します。

企業が行ったCO<sub>2</sub>削減の場合

↓

削減できた量やかかったコストなどを金額やグラムで数値化する。

環境省が定めた「環境会計ガイドライン」では、以下の3つを記載すべき情報としてあげている。

- (1) 環境保全コスト
- (2) 環境保全効果
- (3) 環境保全対策に伴う経済効果

## ■環境会計で記載すべき内容(一例)

## 1.環境保全コスト

| 分類       | 取組内容      | 2021年       | 2022年       |
|----------|-----------|-------------|-------------|
| 温暖化防止コスト | 二酸化炭素削減   | 15,000,000円 | 20,000,000円 |
| 環境保全コスト  | 省エネ機器設備導入 | 11,500,000円 | 10,000,000円 |

## 2.環境保全効果コスト

| 分類    | 取組内容            | 2021年       | 2022年       |
|-------|-----------------|-------------|-------------|
| 電気使用量 | 百kWh            | 1,300,000円  | 1,500,000円  |
| ガス使用量 | 百m <sup>3</sup> | 11,500,000円 | 10,000,000円 |

## 3.環境保全対策に伴う経済効果

| 分類                  | 2021年       | 2022年       |
|---------------------|-------------|-------------|
| 省エネ機器導入によるエネルギー費削減額 | 10,500,000円 | 12,500,000円 |

## ■環境会計を導入する目的

CO<sub>2</sub>削減などの取り組みへのコストや経済効果を数値で表すことで費用対効果がより正確に把握できるようになる。

投資家や消費者などのステークホルダーは、数値化されていることで企業がどれほど環境への取り組みをしているかの指標になる。

説明文出典:脱炭素経営の教科書

<https://tanso-man.com/>